

「心身機能のエイジングに着目した高齢期の就労支援に関する研究」  
分担研究報告書

分担課題名 高齢期における就労と関連する身体的・精神的・社会的要因

研究分担者 八谷 寛<sup>1</sup>

研究代表者 大塚 礼<sup>2</sup>

研究協力者 高田 碧<sup>1</sup>

研究協力者 洪 英在<sup>1</sup>

研究協力者 太田充彦<sup>3</sup>

研究協力者 松永眞章<sup>3</sup>

研究協力者 加藤善士<sup>3</sup>

研究協力者 前田悠智<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 名古屋医学部・大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学

<sup>2</sup> 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所 老化疫学研究部

<sup>3</sup> 藤田医科大学 医学部 公衆衛生学

【研究要旨】

名古屋市北部・愛知県北部を所管する労働基準協会(一般社団法人)の会員企業500社を対象に高齢労働者の雇用・就労・配置等に関する実態・意識調査を実施し、260事業所より有効回答を得た。総務・人事等の担当者から当該事業所における高齢労働者の労働災害発生状況等の実態とともに、高齢労働者に対する、労働災害防止対策、身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮、私傷病に対する配慮、腰痛予防対策、雇用に係る配慮などについて調査した。その結果、65歳以上の労働者数が多い事業所では、腰痛予防対策、勤務時間への配慮、マニュアル整備や設備改善、わかりやすい指示の提供など、より多様かつ具体的な配慮を実施していることがわかった。

また、中部地方の自治体職員を対象とした生活習慣病の発症要因に係る追跡研究である愛知職域コホート研究の対象者のうち、当該職域を定年退職し調査時点で60歳以上の者に対して就労や健康状態に係る調査を実施し、解析に必要な変数に欠損がない回答を2,925名から得た。現在仕事をしていない者は1,396名(47.7%)、就労している者は1,529名(52.3%)であった。就労している者の約半数が、いびき、腰の痛み、耳の聞こえ・目の見え方の悪化といった問題を抱えていた。また約3割に、夜間または早朝に目が覚めたこと、孤独感あり、低いソーシャルサポート、膝の痛み、オーラルフレイル、フレイルといった問題が認められた。一方で、生きがいをもっている者の割合は約7割、健診・検診を受診している者の割合は約9割と高かった。

最後に、2022年に実施した愛知職域コホート退職者調査データを用いた解析において、疲労感を感じていることは就労していないことと関連していた。その関連は、その他の心身の状況、認知機能とは独立していたが、膝や腰の痛み、転倒の不安、糖尿病の病歴の調整によりやや減弱した。横断研究のため因果関係は不明であるが、疲労感あるいは疲労感を感じやすい心身の状態が高齢者の就労を妨げる可能性が考えられた。

## A. 背景と目的

2024年度(平均)の65歳以上の就業者数は正規132万人(総数3,662万人の3.6%)、非正規437万人(総数2,132万人の20.5%)で、前年度よりそれぞれ5万人、15万人増加した(総務省労働力調査)。非正規の就業者数は全体では2万人の増加であり、生産年齢(15~64歳)における非正規従業員の減少を高齢者での増加が上回っていることを示している。このように、特に非正規の高齢者就業者数とその割合は増加傾向にあり、高齢者の就業が少子社会における活力維持に極めて重要であること、我が国の社会保障の持続可能性にも密接に関係していることを示している。就業者は非就業者より、自身を健康であるとした割合が年齢によらず一貫して高く(中高年者縦断調査特別報告、2019)、その値は8割を超えている。心身機能のエイジングを考慮した就労支援を行うことで、高齢者の労働参加障壁を減らすことに繋がる可能性がある。

高齢期の安全な就労の支援に資するため、事業所における労働災害防止対策や高齢者労働者に対する就業上の配慮などに関する調査を、愛知県の名北労働基準協会会員企業の事業所に対して実施した。また、高齢者の就労に関連する健康要因、高齢者の就労継続や非就労に関連する要因を、コホート研究によって検討することとした。

## B. 方法

### (事業所調査)

名古屋市北部・愛知県北部を所管する一般社団法人名北労働基準協会の会員企業500社の事業所を対象とした。調査用紙は名北労働基準協会より対象事業所に直接郵送し、回答後に名北労働基準協会まで返送させた。

調査内容は、高齢労働者の健康・安全の維持・改善に関係するものを選定することを目的

に、研究者間および名北労働基準協会と協議して選定した。具体的には、エイジフレンドリーガイドライン(「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」)の認知度、労働災害の発生状況、労働災害防止対策、産業保健体制、高年齢労働者に対する身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮(作業環境、労働時間、両立支援等)の有無と内容、私傷病(脳血管疾患、心疾患、筋骨格系疾患、がん、精神障害、糖尿病、骨折等)を抱える高年齢労働者の有無と配慮の内容、高年齢労働者に対する腰痛予防対策の有無と内容、高年齢労働者の雇用に係る就労上の配慮の有無と内容、高年齢の方に仕事をしていただくための課題、高年齢労働者の働き方を改善、あるいは能力を活用する上で、関係機関(国、県等地方公共団体、関連団体等)に支援を期待したいことについてである。高年齢労働者の雇用に係る就労上の配慮の内容は自由記載の他、以下の中から該当するものを選ばせた。

- ・ 短時間勤務等の勤務時間の配慮(勤務日数や時間を配慮)
- ・ 休暇を取得しやすくする、勤務中の休憩を認める等休養への配慮(勤務時間中の休憩時間を長くとり等)
- ・ 配置転換等人事管理面についての配慮(職責や交代勤務等の希望に配慮)
- ・ 通院・服薬管理等の雇用管理上の配慮(通院時間やリハビリ時間等の確保)
- ・ 駐車場、住宅の確保等の通勤への配慮
- ・ 職場内における健康管理等の相談支援体制の確保
- ・ 雇用管理に関するマニュアル等の整備(高年齢者特性に配慮した労務管理をはかるため)
- ・ 職場での移動や作業を容易にする施設・設備・機器の改善(高年齢者特性に配慮した施設・設備の導入等)

- ・ 業務実施方法についてのわかりやすい指示(高齢者特性を踏まえた作業指示・マニュアル等作成)

#### (退職者調査)

愛知職域コホート研究の対象は中部地方の某自治体職員で、平成9年に第1次のベースライン調査、以後約5年ごとに対象者を追加した、第2～6次のベースライン調査(2002、2007、2013、2018、2023年)を実施し、直近の2018年度第5次コホートには、5,519名が、2023年度第6次コホートには、5,303名が参加した。退職者への生活習慣等の調査は2016年、2018年、2020年、2022年、2024年に実施した。

2024年の調査では、就労状況、業種、雇用形態、交代・深夜勤務有無、通勤方法、通勤時間、勤務日数、労働時間、職業性ストレス、働く(働かない)理由の他、家族の介護や子や孫の育児、主観的な経済的状況、身体活動、飲酒、喫煙、睡眠、抑うつ、孤独感、ソーシャルサポート、JST版高齢者活動能力指標、腰痛・膝痛、視聴力、フレイル・オーラルフレイル、疲労感について調査した。

### C. 結果

#### (事業所調査)

260事業所から回答が得られた。事業所の業種としては、製造業が28.9%、建設業が22.3%、商業9.6%、サービス業8.9%、運輸業6.5%で、それ以外が約25%であった。企業規模は50人未満が10.4%、50人以上300人未満が35.0%、300人以上が54.6%であったが、事業所の規模は、50人未満が24.6%、50人以上300人未満が53.9%、300人以上が21.2%であった。また高齢労働者の健康診断実施の状況は、60-64歳の一般健康診断の実施人数が50名以上となる事業場は12.7%、65歳以上の一般健診の実施労働者数が50名以上となる事業場は6.5%となっていた。エイジフレ

ンドリーガイドラインは41.2%の事業所が当該事業所において認知されていると回答した。

過去2年間に、高齢労働者において4日以上休業を要する労働災害があった事業所は10.0%であった。また4日未満の休業を要する労働災害については8.5%であった。高齢労働者に対する労働災害防止対策は24.2%の事業所が実施していると回答した。

専属産業医、嘱託産業医、保健師、看護師のいる事業所はそれぞれ8.1%、68.9%、21.9%、10.8%であった。高齢労働者に対する身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮(作業環境、労働時間、両立支援等)は37.3%の事業所が60-64歳の高齢労働者に対し、38.9%の事業所が65歳以上の高齢労働者に対して実施していた。

私傷病(脳血管疾患、心疾患、筋骨格系疾患、がん、精神障害、糖尿病、骨折等)を抱える60-64歳、65歳以上の高齢労働者はそれぞれ34.6%、25.4%の事業所において「いる」との回答であった。

高齢労働者の雇用に係る就労上の配慮は58.1%の事業所がしていると回答し、その内訳(複数回答)は、勤務時間の配慮が43.5%と最も多く、次いで配置転換等人事管理面についての配慮が31.2%であった。

また、自由記載の「高齢労働者に対する労働災害防止対策の内容」、「高齢労働者に対する身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮(作業環境、労働時間、両立支援等)」、「私傷病(脳血管疾患、心疾患、筋骨格系疾患、がん、精神障害、糖尿病、骨折等)を抱える高齢労働者に対する配慮」、「高齢労働者に実施している腰痛予防対策の具体的な内容」、「高齢労働者の雇用に係る就労上の配慮」は表に示した。

労働災害防止対策としては、(作業)環境改善、配置・特定作業への従事制限、時間管理、作業に係る教育・安全衛生に係る啓発に大別されると考えられた。

さらに、高年齢労働者数別の事業所の特性を、60-64歳、65歳以上に分けて示した。60-64歳の高年齢労働者数が多いほど、全労働者数の多い事業所、エイジフレンドリーガイドラインを知っている事業所、労働災害発生数、高年齢労働者に対する労働災害防止対策を行っている事業所、専属産業医、嘱託産業医、保健師、看護師がいる事業所、就業上の配慮をしている事業所が多かった。作業遂行や雇用管理配慮として、通院・服薬等雇用管理への配慮、相談支援体制を配慮している事業所は、60-64歳の高年齢労働者数が多いほど多かった。

また65歳以上の高年齢労働者数が多いほど、全労働者数の多い事業所、エイジフレンドリーガイドラインを知っている事業所、労働災害発生数、高年齢労働者に対する労働災害防止対策を行っている事業所、就業上の配慮をしている事業所、腰痛予防対策を実施している事業所、勤務時間の配慮をしている事業所、通院・服薬等雇用管理への配慮をしている事業所、相談支援体制、マニュアル整備、施設・設備・機器の改善、わかりやすい指示といった配慮をしている事業所が多かった。

#### (退職者調査)

2024年に愛知職域コホート研究の退職者調査に参加した60歳以上の男女のうち、就労の有無に関する質問への回答があり、解析に必要な変数に欠損のない2,525名のうち、現在仕事をしていない者は1,396名(47.7%)、就労している者は1,529名(52.3%)であった。就労している者の約半数が、いびき、腰の痛み、耳の聞こえ・目の見え方の悪化といった問題を抱えていた。また約3割に、夜間または早朝に目が覚めたこと、孤独感あり、低いソーシャルサポート、膝の痛み、オーラルフレイル、フレイルといった問題が認められた。一方で、生きがいをもっている者の割合は約7割、健診・検診を受診している者の割合は約9割と高かった。

2022年の退職者調査のデータを用いた統計解析において、就労の有無は疲労感とは関連していた。抑うつ状態、握力は疲労感と関連したが、疲労感と就労の関連を説明はしなかった。

#### D. 考察および結論

本研究は高齢期の安全な就労の支援に資する知見を得ることを目的としている。事業所調査から、高年齢労働者数が多い事業所ほど労働災害防止対策や就業上の配慮を実施している割合が高くなることが分かった。当該事業所において就労している私傷病を有する高齢労働者は、60-64歳で34.6%の事業所。65歳以上で25.4%の事業所が該当した。疾病は加齢とともに増えることから、高齢になるほど、疾病のないより健康な者が就労する **Healthy Worker Effect** を示唆する結果と考えられた。また、現行法規上65歳までの雇用継続が義務付けられ、それ以後が努力義務等とされていることから、事業場の高齢年齢者への配慮の意欲の程度が65歳を境に低下等の影響している懸念もある。

両立支援は産業保健において重要な課題であるが、非正規雇用される高齢労働者は益々増加する傾向にあり、社会の要請も強いことから、私傷病を有する高齢労働者の就労支援や労働災害防止対策における課題についてのさらなる検討が必要と考えられた。雇用上の配慮や配置は、一定規模以上の企業・事業所において、対応が可能な対策かもしれないが、小規模事業所・企業における有効な就業上の配慮についての知見がより求められると考えられた。

退職者調査においても、就労(再就労)する者が5割以上を占めることが明らかになり、健康上の課題を抱えている者も多いことが分かった。就労は生活上の要請の側面もあるが、生きがいの自覚に繋がる活動となっている可能性も示唆され、活力ある社会の構築におい

でも、高齢労働者の就労支援は重要な課題であると考えられた。

E. 健康危険情報  
なし

F. 研究発表

1. 論文発表

○田島 里菜, 宋 澤安, 洪 英在, 福田 知里, 史 旭良, 吉田 裕子, 清水 宏子, 村上 美晴, 小林 芽生, 中野 嘉久, 松永 眞章, 太田 充彦, 玉腰 浩司, 八谷 寛. 都市部職域コホートにおける危険因子の集積と心血管疾患発症リスクとの関連及びその集団寄与危険割合. 日本循環器病予防学会誌. 2025.02;60(1):64-73.

○Lin J, Song Z, Li Y, Chiang C, Hirakawa Y, Nakano Y, Hong YJ, Matsunaga M, Ota A, Tamakoshi K, Yatsuya H. Nonrestorative Sleep and Type 2 Diabetes Incidence: The Aichi Workers' Cohort Study. J Epidemiol. 2024 Sep 5;34(9):428-433.

○Hong YJ, Otsuka R, Song Z, Fukuda C, Tajima R, Lin J, Hibino M, Kobayashi M, He Y, Matsunaga M, Ota A, Nakano Y, Li Y, Tamakoshi K, Yatsuya H. Association between milk consumption in middle age and frailty in later life: The Aichi Workers' cohort study. Geriatr Gerontol Int. 2024 Jul;24(7):700-705.

○Okegawa R, He Y, Matsunaga M, Khine MT, Li Y, Kitajima T, Yatsuya H, Ota A. Chronotype and leisure-time physical activity among civil servants in Japan: a cross-sectional analysis of the Aichi workers' cohort study. Arch Public Health. Nov 8;82(1):205.

2. 学会発表

(講演・シンポジウム)

会長講演

八谷 寛.

愛知職域コホート研究における糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ研究.

第 9 回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会, 愛知, 2024 年 12 月 21 日

シンポジウム

八谷寛. 職域から発信する糖尿病・生活習慣病予防のエビデンス. 第 9 回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会, 愛知, 2024 年 12 月 21 日

(一般演題)

小林 芽生, 李 媛英, 宋 澤安, 洪 英在, 日比野 瑞歩, 田島 里菜, 太田 充彦, 大塚 礼, 玉腰 浩司, 八谷 寛. 日本人中年男性における長期的な収縮期血圧変動とうつ状態発症との関連. 第 60 回日本循環器病予防学会誌, 東京, 2024 年 5 月 11 日

宋 澤安, 太田 充彦, 李 媛英, 洪 英在, 福田 知里, 田島 里菜, 林 宜, 史 志凌, 日比野 瑞歩, 玉腰 浩司, 八谷 寛. 日本人中年労働者の職業ストレスと心血管疾患発症の関連 愛知職域コホート研究. 第 97 回産業衛生学会, 広島, 2024 年 5 月 24 日

日比野 瑞歩, 李 媛英, 宋 澤安, 洪 英在, 田島 里菜, 小林 芽生, 太田 充彦, 玉腰 浩司, 八谷 寛. 朝食欠食と抑うつ発症の関連 愛知職域コホート研究. 第 97 回産業衛生学会, 広島, 2024 年 5 月 24 日

洪 英在, 大塚 礼, 宋 澤安, 福田 知里, 小林 芽生, 松永 眞章, 太田 充彦, 李 媛英, 玉腰 浩司, 八谷 寛. 20 歳から老年期にかけての体重変動はフレイル発症関連要因である

愛知職域コホート研究. 第 66 回日本老年医学会, 愛知, 2024 年 6 月 14 日

大塚礼、西田裕紀子、丹下智香子、八谷寛、久保田彩、安藤富士子、下方浩史、加藤隆司、中村昭範、荒井秀典. 定年退職期の就労継続と脳灰白質容積の 10 年間の変化. 第 66 回日本老年医学会, 愛知, 2024 年 6 月 14 日

史志凌、李媛英、宋澤安、高田碧、日比野瑞歩、洪英在、福田知里、NUAMAH Hanson Gabriel、AKTER Tahmina、MOHAMMAD Hassan Hamrah、王爽、大塚礼、He Yupeng、松永眞章、太田充彦、八谷寛. Ikigai modifies the association between Perceived Stress and obesity occurrence: Aichi Workers' Cohort Study. 第 70 回東海公衆衛生学会, 愛知, 2024 年 7 月 6 日

八谷寛. 日本人中年労働者における BMI と心血管疾患リスクの関連・危険因子による媒介: 愛知職域コホート. 第 45 回日本肥満学会, 神奈川, 2024 年 10 月 19 日

宋澤安、李媛英、高田碧、洪英在、He Yupeng、松永眞章、太田充彦、玉腰浩司、大塚礼、玉腰浩司、八谷寛. Inverse Association between Occupational Stress and Post-retirement Cognitive Function. 第 83 回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024 年 10 月 30 日

洪英在、大塚礼、高田碧、李媛英、宋澤安、松永眞章、He Yupeng、太田充彦、玉腰浩司、八谷寛. 高齢男性の疲労感は独立した非就労関連因子である 愛知職域コホート研究. 第 83 回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024 年 10 月 30 日

宋澤安、李媛英、高田碧、洪英在、Perera Shalini、杉山 怜菜、西尾 七海、大塚

礼、八谷寛. 日本人中年労働者における要求度-裁量-支援モデルに基づく職業ストレスと心血管疾患リスクの関連 愛知職域コホート研究. 第 32 回産業ストレス研究学会, 愛知, 2024 年 12 月 13 日

杉山 怜菜、宋澤安、李媛英、高田碧、洪英在、太田充彦、玉腰浩司、八谷寛. 職業性ストレスと C 反応性タンパクの関連 愛知職域コホート研究. 第 9 回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会, 愛知, 2024 年 12 月 21 日

Endale BT, Song Z, Li Y, Takada M, Paththamesthri SE, Matsunaga M, Kitajima T, Ota A, Tamakoshi K, Yatsuya H. The Association Between Chronotype and Metabolic Syndrome in middle-aged Japanese workers. 第 9 回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会, 愛知, 2024 年 12 月 21 日

Paththamesthri SE, Li Y, Song Z, Takada M, Hibino M, Endale BT, Aktar T, Mohanmad HH, Wang S, Yatsuya H. Association between the tendency to overeat and incidence of pre-diabetes over five years. 第 9 回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会, 愛知, 2024 年 12 月 21 日

堀越 水涼、宋澤安、李媛英、高田碧、松永眞章、玉腰浩司、八谷寛. 出生体重を考慮した糖尿病の家族歴と病歴との関連. 第 9 回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会, 愛知, 2024 年 12 月 21 日

洪英在、大塚礼、宋澤安、高田碧、Akter Tahmina、Hamrah Mohammad Hassan、Nuamar Gabriel、福田知里、王爽、権藤夏子、日比野瑞歩、杉山 怜菜、Endale Baruck、Shalini Perera、西尾七海、服部優奈、太田充彦、李

媛英、玉腰浩司、八谷寛、 中年期までの体重増加と中年期以降の体重変動は老年期筋肉量低値と関連するー愛知職域コホート研究ー.  
第 35 回日本疫学会学術総会, 高知, 2025 年  
2 月 12 日

G. 知的所有権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

### 事業所調査の単純集計結果

	度数	%
事業所の業種		
(01)建設業	58	22.3
(02)製造業	75	28.9
(03)電気・ガス業	2	0.8
(04)情報通信業	8	3.1
(05)運輸業	17	6.5
(06)商業	25	9.6
(07)金融業・保険業	10	3.9
(09)医療・福祉・保健衛生業	7	2.7
(10)サービス業	23	8.9
(11)その他	33	12.7
(12)欠損値	2	0.8
合計	260	100.0

	度数	%
企業全体の全労働者数		
(01)1～9人	4	1.5
(02)10～49人	23	8.9
(03)50～299人	91	35.0
(04)300～499人	27	10.4
(05)500～999人	27	10.4
(06)1000人以上	88	33.9
合計	260	100.0

	度数	%
事業所の全労働者数		
(01)1～9人	10	3.9
(02)10～49人	54	20.8
(03)50～299人	140	53.9
(04)300～499人	23	8.9
(05)500～999人	18	6.9
(06)1000人以上	14	5.4
(07)欠損値	1	0.4
合計	260	100.0

	度数	%
一般健診断対象者		
(01)1～9人	10	3.9
(02)10～49人	54	20.8
(03)50～299人	141	54.2
(04)300～499人	24	9.2
(05)500～999人	18	6.9
(06)1000人以上	11	4.2
(07)欠損値	2	0.8
合計	260	100.0

	度数	%
一般健診断対象者 (60～64歳)		
(01)0人	12	4.6
(02)1～9人	110	42.3
(03)10～29人	84	32.3
(04)30～49人	17	6.5
(05)50人以上	33	12.7
(06)不明	3	1.2
(07)欠損値	1	0.4
合計	260	100.0

	度数	%
一般健診断対象者 (65歳以上)		
(01)0人	51	19.6
(02)1～9人	133	51.2
(03)10～29人	48	18.5
(04)30～49人	4	1.5
(05)50人以上	17	6.5
(06)不明	4	1.5
(07)欠損値	3	1.2
合計	260	100.0

	度数	%
ガイドライン		
(01)知っている	107	41.2
(02)知らない	149	57.3
(03)欠損値	4	1.5
合計	260	100.0

	度数	%
休業4日全体		
(01)0人	177	68.1
(02)1~4人	55	21.2
(03)5~9人	11	4.2
(04)10人以上	3	1.2
(05)欠損値	14	5.4
合計	260	100.00

	度数	%
休業4日高年齢者		
(01)0人	220	84.6
(02)1~4人	24	9.2
(03)5~9人	1	0.4
(04)10人以上	1	0.4
(05)欠損値	14	5.4
合計	260	100.0

	度数	%
休業4日熱中症等全体		
(01)0人	212	81.5
(02)1~4人	21	8.1
(03)5~9人	5	1.9
(05)欠損値	22	8.5
合計	260	100.0

	度数	%
休業4日熱中症等高年齢者		
(01)0人	225	86.5
(02)1~4人	12	4.6
(05)欠損値	23	8.9
合計	260	100.0

	度数	%
休業1~4日全体		
(01)0人	187	71.9
(02)1~4人	44	16.9
(03)5~9人	11	4.2
(04)10人以上	6	2.3
(05)欠損値	12	4.6
合計	260	100.0

	度数	%
休業1~4日高年齢者		
(01)0人	225	86.5
(02)1~4人	21	8.1
(03)5~9人	1	0.4
(05)欠損値	13	5.0
合計	260	100.0

	度数	%
休業1~4日熱中症等全体		
(01)0人	204	78.5
(02)1~4人	25	9.6
(03)5~9人	8	3.1
(05)欠損値	23	8.9
合計	260	100.0

	度数	%
休業1~4日熱中症等高年齢者		
(01)0人	226	86.9
(02)1~4人	10	3.9
(05)欠損値	24	9.2
合計	260	100.0

	度数	%
労働災害防止対策		
(01)はい	63	24.2
(02)いいえ	183	70.4
(03)欠損値	14	5.4
合計	260	100.0

	度数	%
専属産業医		
(01)いる	21	8.1
(02)いない	214	82.3
(03)欠損値	25	9.6
合計	260	100.0

	度数	%
嘱託産業医		
(01)いる	179	68.9
(02)いない	76	29.2
(03)欠損値	5	1.9
合計	260	100.0

	度数	%
保健師		
(01)いる	57	21.9
(02)いない	182	70.0
(03)欠損値	21	8.1
合計	260	100.0

	度数	%
看護師		
(01)いる	28	10.8
(02)いない	208	80.0
(03)欠損値	24	9.2
合計	260	100.0

	度数	%
就業上の配慮(60～64歳)		
(01)60～64歳に配慮している	97	37.3
(02)チェックなし	163	62.7
合計	260	100.0

	度数	%
就業上の配慮(65歳以上)		
(01)65歳以上に配慮している	101	38.9
(02)チェックなし	159	61.2
合計	260	100.0

	度数	%
就業上の配慮(していない)		
(01)配慮していない	136	52.3
(02)チェックなし	124	47.7
合計	260	100.0

	度数	%
私傷病(60～64歳)		
(01)私傷病(60～64歳)あり	90	34.6
(02)チェックなし	170	65.4
合計	260	100.0

	度数	%
私傷病(65歳以上)		
(01)私傷病(65歳以上)あり	66	25.4
(02)チェックなし	194	74.6
合計	260	100.0

	度数	%
私傷病(いない)		
(01)私傷病なし	146	56.2
(02)チェックなし	114	43.9
合計	260	100.0

	度数	%
腰痛予防(60～64歳)		
(01)腰痛予防(60～64歳)実施	50	19.2
(02)チェックなし	210	80.8
合計	260	100.0

	度数	%
腰痛予防(65歳以上)		
(01)腰痛予防(65歳以上)実施	41	15.8
(02)チェックなし	219	84.2
合計	260	100.0

	度数	%
腰痛予防(していない)		
(01)腰痛予防未実施	195	75.0
(02)チェックなし	65	25.0
合計	260	100.0

	度数	%
作業遂行や雇用管理配慮		
(01)作業遂行や雇用管理配慮なし	95	36.5
(02)作業遂行や雇用管理配慮あり	151	58.1
(03)欠損値	14	5.4
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(勤務時間)		
(01)勤務時間の配慮への配慮	113	43.5
(02)チェックなし	147	56.5
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(休養)		
(01)休養への配慮	52	20.0
(02)チェックなし	208	80.0
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(人事管理)		
(01)人事管理面についての配慮	81	31.2
(02)チェックなし	179	68.9
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(雇用管理)		
(01)雇用管理上の配慮	53	20.4
(02)チェックなし	207	79.6
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(通勤)		
(01)通勤への配慮	14	5.4
(02)チェックなし	246	94.6
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(相談支援体制)		
(01)相談支援体制の確保	52	20.0
(02)チェックなし	208	80.0
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(マニュアル)		
(01)マニュアル等の整備	12	4.6
(02)チェックなし	248	95.4
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(施設・設備・機器)		
(01)施設・設備・機器の改善	16	6.2
(02)チェックなし	244	93.9
合計	260	100.0

	度数	%
配慮(指示)		
(01)わかりやすい指示	11	4.2
(02)チェックなし	249	95.8
合計	260	100.0

### (設問3) 高齢労働者に対する労働災害防止対策の内容

#### (作業)環境改善

60才再雇用時に対象職場の点検を実施(アンケート記入) 階段全てに手すりの設置や歩道の段差をなくすことで転倒災害の未然防止

重量物運搬対策(ジブクレーン・ラクラクハンドなど)の設置

エイジフレンドリー補助金を活用して、設備導入

建設現場内における、道路の段差等のつまずき転倒防止策

照度の確保(LED化)

年齢は問わず、サポートベルトや電動可変式作業台を導入している。

車庫内の車止め・照明設備・洗車機の設置

高齢に関わらず、クールジャケット・防寒着の貸与

労働者50才以上の人+管理者の現場・安全パトロール、その目線で見て指摘し改善を検討する。

対面点呼時の声かけ、ビデオなどでの指導

熱中症対策として全ての社員(高齢者含む)に空調服の配布、及び毎日作業現場出発時に氷らせたペットボトル・塩アメ等を持たせる。

階段の手すり 1部パワースーツを着用する工程あり

会館敷地内の滑り防止等、安全性の確保

体力測定・腰痛・転倒災害防止・視聴覚対策・設備改善等

高齢者に限らず巡察員(管理部署員)が頻繁に警備先(現場)に出向き、労災減少に向け現場にて取り組んでいる。また警備先(お客様)の安全衛生取組にも参加している。熱中症対応では空調服・アイスベスト・塩分タブレット等を警備員に貸与したり、日影を作る様に現場教育に取り組んでいる。

安全パトロールにてエイジフレンドリーを基に、高齢者の就労に関しての作業環境・作業状況を定期的に点検している。

身体機能の低下を補う設備や装置の導入、筋力低下を考慮した作業の見直しなどをテーマに確認を行っている。

職場環境改善を行っている(転倒防止・視覚・聴覚負担の軽減等)

空調服・ネックリングを貸与するなど熱中症防止策。段差をなくす・スリップ防止等転倒防止策

#### 配置・特定作業への従事制限

高所作業の禁止

夜間工事による作業をさせない。残業作業を極力させない。

現場作業の業務禁止

65歳以上は、原則脚立作業をさせない。

職場配置

適正配置

軽作業のみ従事

乗務職で65才以上の方については、適齢診断を受けて頂いています。

就労に関し、適正配置。転倒等リスクチェックの実施

66歳からを高齢者とし、新規入所者教育で年齢と体調・持病を確認し、就労制限・作業配置を行っている。

本人の体力等に応じた業務負担の配慮

勤務形態の配慮

#### 時間管理

短時間勤務・ハーフ勤務導入(再掲)

労働時間・作業内容に制限を設置。

短時間勤務・ハーフ勤務導入

時間外配慮・短時間労働等の対応

短時間勤務・ハーフ勤務導入

フレックスタイム

作業に係る教育・安全衛生に係る啓発

作業前にしっかり時間を取って打合せをしている。

職長教育や能力向上教育等の教育にて、高年齢労働者に対する対策等を説明している。

高齢者への啓発

安全衛生教育を受講

労働者50才以上の人＋管理者の現場・安全パトロール、その目線で見て指摘し改善を検討する。

転倒防止の啓発

高年齢に関わらず、脚立・はしごを使用する場合、安全な方法で使用させている。

70歳以上は、運転業務がある場合、高齢者講習を受講してもらっている。

安全大会 KY

60歳以上は、メンタルヘルスの研修用DVDを見て頂いています。

ラジオ体操の推奨

年齢に限らず、始業時の準備体操

若年者を含めた、ウォーキング推奨等の健康増進を進めています

転倒予防を目的とした「いきいき健康体操」の展開

対象年齢別の教育等は実施していないが、安全衛生委員会等、会議体の中で「高年齢労働者の健康づくり・安全管理」等をテーマに保健師による講話を実施している。

毎月の社内会議において、転倒や無理のない体の動かし方・熱中症キットの使用方法等の周知。

道路パトロール業務の者(全員が65才以上)には、特に安全運転講習を受けさせている(社内) 他は年齢に関係なく、安全教育を毎月実施している(リモート有り)

50歳以上の方に安全教育。内容は、安全教育のビデオ・簡単な体力テスト・腰痛体操(再掲)

高年齢者に限定はしていないが、ラジオ体操、もしくは15時の体操を日々行っている。また、健康セミナーを実施した。

55歳以上の職員に対して、年1回健康意識向上セミナーおよび運動セミナー・体力測定を実施。(再掲)

健康・体づくりセミナーの実施(筋力低下予防・食事指導等) ※40歳以上の従業員(希望者)を対象。

転倒注意、防止

情報共有による注意喚起

高年齢労働者教育(50歳以上)

年齢問わず職場巡回体操・腰痛体操の実施

高年齢を問わず、腰痛・メンタルヘルス・その他の健康管理・労災対策に取り組んでいる。

健康保険組合の被保険者は、健康教室(健康寿命を延ばすための筋力アップ・転倒予防等)を希望すればオンラインで受講が可能

55才以上の従業員、エイジ・フレンドリーパンフレットによる教育

安全衛生協議会でも高齢者の健康管理について指導を行っている。

全国衛生週間地域統括者メッセージの中で、高年齢労働者の特性を考慮した労働環境の整備についてメッセージを発信し、労使合同安全点検を実施

高年齢労働者向けに限定して実施しているものではないが、机上勤務職員が多いことをふまえ腰痛予防対策の体操を実施する

など、適宜健康増進のための取り組みを行っている。

健康講話「体力づくりの必要性」「実技」①運動を効果的に行うポイント。②肩こり・腰痛予防体操  
年令問わず職場巡回体操・腰痛体操の実施

健康管理（健康診断、保健指導）、体力測定

定期的な健康診断における結果フォロー

保健師により「ロコモ度テスト」を実施し個別指導を行っている。

健康診断

乗務職で65才以上の方については、適齢診断を受けて頂いています。（再掲）

就労に関し、適正配置。転倒等リスクチェックの実施（再掲）

体力測定 認知検査

年1回の定期健診の際にインボディ測定とフィードバックを行っている。※全従業員を対象としている。

出勤時血圧・体温測定の実施。

転倒防止チェック（50才以上）

脳ドック受診（希望者）

定期健康診断とは別に、一定年齢以上の社員に対し、会社負担による人間ドック受診。

体力測定・腰痛・転倒災害防止・視聴覚対策・設備改善等（再掲）

高齢者向けの体力測定

体力測定の実施（希望者のみ）

体力測定を実施し、本人の意識と実際の測定結果との差を本人に示し、作業時の注意を促している。

55歳以上の職員に対して、年1回健康意識向上セミナーおよび運動セミナー・体力測定を実施

保健指導

50歳以上の方に安全教育。内容は、安全教育のビデオ・簡単な体力テスト・腰痛体操

全年齢従業員（高年齢からではなく若年層からトレーニングに取り組む）転倒リスク評価・柔軟性測定・敏捷性測定・体組織測定・保健指導

安全衛生委員会（社員他）に対して、健康診断・産業医による指導

60歳以上は体力測定

60歳以上の社員を対象に体力測定を行っている。

(設問5) 高齢労働者に対する身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮(作業環境、労働時間、両立支援等)

必要時、産業医と面談し、個別に配慮を行っている。

労働時間の短縮。

残業時間管理有給休暇取得推奨

勤務時間は同じ(8時間)だが、業務の範囲・責任は軽減させている。

本人の体力的な配慮の為、現場勤務をやめ内勤へ配置転換を個別に対応を行っている。

1年ごとの業務審査時に、年齢に則した業務内容・就業時間を考慮している。

労働時間の短縮担当する物件の場所・内容(自宅より近く短納期)

時間外労働の削減

業務内容が適切かどうか配慮を行っている。

夜間工事での作業をさせない。残業作業を極力させない。

定時で作業を終わるよう分担をしている。

空調服などを支給。

フレックスタイム制利用。長時間運転の抑制。

勤務形態(フルタイム・それ以外)については各人の希望を確認。

高齢者職員は、体力面・視力・聴力等の衰えから転倒事故・もの忘れ・判断ミス等が起こりがちのため、口頭による繰返しの指示と、危険箇所への貼り紙、段差への階段にテーピング等で注意喚起の他、照明のLED化により明るい職場環境に努めている。

就業時間の1時間以上の繰上げ。

医務(休憩)室の確保(全社員向け)

イベント等における長時間の警備業務(雑踏・交通)の転職。

時間外労働の推進

ステップの高さを低くしたり、ただ、どこまでが配慮とするのか不明。

労働時間仕事の内容

可能な範囲で配慮している。

週の勤務日数の短縮。②1日の勤務時間の短縮または①+②の勤務制度を導入している。

年齢を問わず、身体的機能低下等の場合は、産業医との面談を行い就業制限(時間外勤務制限・単独勤務禁止・車両運転禁止等)の措置を講じている。

管理職業務の免除。

転倒や転落防止の観点から工場内(作業場)の安全配慮。本人の作業キャパを確認した適切な業務量の配分。

時間外労働の推奨。短時間勤務の選択可能。

原則、残業をとまなう業務量禁止。

60~64歳は特にしていない。

原則として作業責任者のような立場は外れ、業務負荷が減るような配慮を行う。

勤務日数を減らす。

業務の内容的に、ハードな現場と比較的ソフトな現場が有るので、年齢に応じた対応を心がけている。

週3日勤務を選択できる。

本人の希望を配慮して、交替勤務から普通勤務への変更や、身体への負担が減らせる仕事への変更、短時間勤務への配慮をしている。

労働時間の短縮など。

パートを希望すれば、雇用契約を結ぶ際に労働時間の短縮が可能。

深夜帯の勤務体力的に負担のない業務。

定年再雇用契約時(60歳)及び延長雇用時に本人へヒアリング。

残業及び出張工事をさせない。

本人が希望する勤務(例:週1~3勤・時短勤務)

配置転換休日確保

軽作業等を実施してもらっている。

勤務時間を短縮したり、職種変更をしたりして体力に合う仕事をして頂いている。

職場配置

重量物の作業を控えてもらう。

60歳を迎えた段階でシニア雇用社員となり、1年ごとに面談を実施している。仕事内容・体調等を考慮し、配置転換等を見直す仕組みになっている。

勤務変更

労働時間が長くならない様にしている。作業スピードが求められる現場には配置しない。

勤務時間・日数の把握と変更。

本人の希望・健康状態等面談の上、勤務日(週2日~5日)を決定し、又、作業環境(車の運転の有無等)も決定している。

労働時間の短縮。

本人からの申し出により、就業上の配慮を行っている他、社内の積立有休等の制度を活用した対応を実施。

配置転換・短時間労働・時間外配慮等の対応。

本人の状況に応じて勤務時間の短縮等を行っている。

勤務選択制度(労働時間・日数)時差出勤

週4日勤務又は週5日勤務(通常勤務)のいずれかを選択できる。

個々の健康状況や体力を踏まえ、作業内容の変更や時間外労働時間等の配慮を行っている。

病状によって通勤方法や就業形態の配慮。

フルタイム(月平均173時間)でなく、労働時間を削減した時給制での働き方に本人の申出に応じて変更する。また就業場所(警備場所)の変更についても実施している。

週3日勤務可

雇用条件について本人の意向を確認のうえ非常勤も可としている。

年齢問わず全社員共通。高齢者に優しい作業であれば、若手作業も働きやすい作業環境であり、世代を問わず快適職場作りを実施(視環境・段差をなくす・空調整備・臭気対策・作業負荷を低減する改善等)

週5勤務から週3勤務への変更。

週3日や4日勤務制度を選択可能。フレックスタイム制導入により通勤時間や通院等に配慮。

目標数値(ノルマ)の軽減。

現場でも適正配置残業時間制限

履物・ラジオ体操・転倒防止チェック。

重い荷物の運搬をさける。残業がないようシフトを組む(協力しあう)

適した業務への異動。

労働時間の短縮。出勤日数の調整。

勤務メニューの選択。

軽作業とする

本人の事情等を考慮し、本人と相談の上で労働時間等を決定している。希望に応じた産業医健康相談の実施。

職場作業内での段差排除・床5Sの徹底(年代問わず実施)

勤務日数の調整。労働時間・作業内容変更。

労働時間短縮の選択。

本人の体力等に応じた業務負担の配慮。フレックスタイム病気休暇制度両立支援

両立支援

再任用職員及び会計年度任用職員については、一般職員と比べ1週の勤務時間を短く設定している(フルタイム再任用職員を除く)個別の事情に応じ、超勤制限等必要な配慮を行なうことのできる制度としている。

可能な限り身体に負荷のかかる業務は実施させない。長時間労働にならないよう就業管理を実施。

勤務日数の調整(減らす)

作業内容・負荷など本人の体調に合わせて配慮している。

1週当たりの所定労働日数の縮小。

作業環境の配慮をしている。

作業環境(運転業務の禁止など)

軽作業職場への配置。

負荷がかかる作業を避け、安全(体力面)を重視した作業への転換をしています。

労働負荷の軽減、就業場所・日数の考慮等。

高齢労働者の特性を考慮し、ゆとりを持った業務管理を行っている。

体調に応じた就業部署の配慮。

本人の希望を聞いて週に3日勤務などを行っている。

(高齢に限らず全従業員が対象)転倒防止等の職場環境の改善。フレックス・時差出勤・在宅勤務制度導入。定期健康診断結果を確認し、必要に応じて産業医面談を実施し、就労制限要否を判断

週3日・4日勤務。

就業形態の選択(パート・嘱託)が可能となっている。

重量物作業はさせない。

身体的に負荷の大きい業務をさせない。

(設問6)私傷病(脳血管疾患、心疾患、筋骨格系疾患、がん、精神障害、糖尿病、骨折等)を抱える高年齢労働者に対する配慮

脳血管疾患・心疾患の既応のある方は就業の制限を行っている。本人と面談し、業務配慮を行う。必要時、主治医へ意見書を依頼し産業医が就労の制限判断を行っている。

就業制限など産業医・保健師の意見を聞きながら実施。

通院などを優先できるよう配慮している。

薬等でコントロールされている方については特に配慮しておりません。

産業保健師による休職者へのフォロー・電話面談を実施し、復職までの手続きをスムーズに行うようにアドバイスし、復職後も必要に応じてフォロー・面談対応しています。

軽度な者はいるので、その都度遠慮なく軽減策を申出るよう伝えている。

医師・産業医の指導による。

病院紹介など受診・治療勧奨。治療経過確認・相談機会の提供。就業制限や職場への就業配慮の申し込み。在宅勤務やバリアブル勤務など会社制度活用の提案。

年齢を問わず、身体的機能低下等の場合は、産業医との面談を行い就業制限(時間外勤務制限・単独勤務禁止・車両運転禁止等)の措置を講じている。

健診結果を踏まえた上での健康管理(積極的な指導)

体調不良時は無理せず休むよう促している。

テレワークの推奨

時短勤務PC入力補助

医務室と連携し、定期的に状況確認を行う。通院がしやすい(休みを取得しやすい)ように、上長と情報を共有する。

テレワーク(上記"5"以外)

個別に産業医の指示に従っている。

配置転換し3年は安定している。

全社員、定期健康診断から通院サポート。

夜勤の免除。業務内容の配慮。

産業医面談を行い、配慮事項を確認している。残業なし等。

現場での朝礼・夕礼の実施。業務及び体調面の確認。

体力的負担となる業務は避けることとしています。

主治医の意見書に基づき、フルタイム→週3勤。

治療と仕事の両立支援(コーディネーターを配置)

毎月の健康診断結果をもらい仕事内容との精査。

一人作業(現場)を行わせない。内勤中心。

就業時間調整

糖尿病治療・抗がん剤治療者有り。労働時間短縮実施中。配置転換も実施。

定期的に主治医に受診し、結果報告のうえ勤務時間・日数等勤務体系の変更。

時間外配慮・短時間労働等の対応。

リハビリ勤務(労働時間・日数)

会社は産業医が必要と認めた職員に対しては、①就業の禁止②就業時間の制限③深夜労働および特定業務の禁止④休日の

励行⑤職場の変更の処置をとることがあります。

時間外勤務の禁止や制限。業務内容の変更。

心疾患→重量物の運搬はさせないよう配慮している。がん→特にない。

健康相談室で腎不全の方が腹膜透析できる様に対応しております。

産業医の指導によって必要に応じ業務制限。

教職員への健康管理の支援として、7日間以上欠勤する者には診断書の提出を求め、傷病内容により、産業医による面談を実施し、就業の可否・配慮について判断している。その他、学内ポータルサイトのメンタルヘルス予防・防止のコンテンツ掲載等を行っています。

個々の健診データ・治療等の状況に応じて、産業医や保健師からの保健指導等を実施している。就業制限や配慮を必要とする場合、本人との面談により職場・人事労務・健康管理部門が連携して対応している。

内勤への配置転換や残業免除。

時間外労働の制限による配慮。

生活指導として、運動・食事について具体的に説明している。

⑤高齢労働者に対して身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮での対応と同じ。

体調を確認のうえ、就業場所等(テレワーク含)を検討。産業医の面談等を実施し、必要に応じ就労制限を行う。

私傷病の状態に応じて下記業務の制限や軽減措置を実施している(時間外勤務・出張・深夜業務・重量物取扱業務・高所業務・単独業務・寒冷業務等)

ご本人の病状・現状の体力の程度により、必要に応じ主治医の意見を聴取したうえで、有害業務・当直勤務・深夜労働・所定外労働・出張について配慮。

労働時間・労働日を本人の希望に沿うよう契約内容(労働日の入れ替え等)を都度変更可能(基本的には年1回)

深夜業を含む交替勤務へは就かせず、常昼日勤として勤務に就かせる。

勤務時間・場所・仕事内容等について配慮。復職時は主治医・産業医の意見をもとに労働条件の見直し。

私傷病による欠勤1か月(有給)・私傷病による休職3か月(無給)を規定に定めている。

検査・治療に専念できる人員体制を常に考え、休暇(有休)が取得しやすくしている。

勤務地・職務内容に配慮。自宅近くの事務所。軽作業・判断が容易な作業を割当。

①フレックス勤務を活用した通院時間等の確保。②積立有給休暇(※)の従業員私傷病への使用。※失効した有給休暇を最高100日を限度として積立てし使用することができる当社独自の制度。

労働環境・労働時間・休暇の取得。

残業・転勤・業務内容の制限。

個別に相談があれば配慮する場合があります。

本人の事情等を考慮し、本人と相談の上で労働時間等を決定している。希望に応じた産業医健康相談の実施。

健康管理室で定期的に健康状態の確認。必要があれば、仕事内容の配慮。

本人の希望があれば就業日数を減らしている。

時間外労働時間の制限や病態に合わせた職場環境の配慮(高温職場や重量物取扱い職場を避けるなど)

産業医面談を実施し、主治医の意見を踏まえ配慮ある内容を検討し実施しています。

本人の体力と能力を見て、上長が業務を配分する。

本人の健康状態の定期的な確認(産業医面談・看護師による面談)相談窓口の提供(健康支援室・家庭の医学アプリ)

職務に専念する義務の免除制度。休職制度病態に応じて管理区分を設け、区分に応じた勤務制限。

個別の事情に応じ、超勤制限等必要な配慮を行なうことのできる制度としている。病気の種類にかかわらず、療養のために休業できる制度を設けており、また通院によるがん治療を受ける職員については、治療の都度休業できる制度としている。

時間単位有給休暇制度・フレックス制度により、体調・通院などに合わせた業務が可能。

脳出血の後遺症→難易度の低い作業へ配転。精神疾患→休養を認める。

可能な限り身体に負荷のかかる業務は実施させない。長時間労働にならないよう就業管理を実施。

産業医の判断に基づいて勤務。

本人の症状に合わせ対応。

相談窓口・産業医面談を通じて必要時に配慮。

病態に応じて必要な就業上の措置を実施。現状は有休やフレックスにて通院のみ、就業制限付与等はなし。

定期的に健康診断を促すことです。

出勤時、血圧測定。通院・リハビリ時間の確保。

体調に応じた就業部署・業務量の配慮。

健康診断結果や本人の申告をベースに産業医面談を実施し、必要な場合は時間外労働禁止・深夜勤務禁止など就業制限要否を判断。

休職制度の導入。

経験や能力に基づいた業務を提供し、無理のない仕事を割り当てている。

## (設問 7) 高齢労働者に実施している腰痛予防対策の具体的な内容

### 腰痛体操(毎日)実施

腰痛の可能性のある作業を行う該当者に「腰痛防止腰ベルト」を支給し、装着して業務を行っています。

重量物の取扱いについてKYで周知。

重量物をもつ作業はさせない。毎朝、ラジオ体操を実施。

### 腰痛防止ベルト支給

### ラジオ体操

3号警備において持上げて腰に負担をかけないように、リフト付の貨物自動車を導入している。毎朝のラジオ体操。

可能な範囲で配慮している。

重量物の運搬業務の回避。

重量物の運搬に対し、ハンドリフトを積極的に利用。安全面からも周囲の声掛けを実施。

### サポーターの支給

(基本はデスクワーク)

重量物運搬の人から機械化。腰痛防止ツールの活用。

貨物の運搬作業を行う時の姿勢や、重量の限度について、動画等を用いた安全教育を行っている。

全社員へ腰痛予防啓発ポスター。

年齢に限ったことではないが、重量を15kg以上にならない様にしている。機械を導入し身体への負担を軽減する。

メンタルヘルス等のDVD研修。

扱う荷の重さについて、ルールを作り、限度を超える荷については、2人作業もしくはハンドリフトを用いるよう指示している。

重量物の作業を控えてもらう。

重量物を持たせない。

重いものは持たない様に。

重量物運搬設備の配備。

本年度は60歳以上に限定せず、肩こり・腰痛解消法のセミナーを実施した。

ノーリフティングポリシーに基づく動作・作業の指示・研修の実施。必要な補助器具・機器の導入により、介護労働の負荷を軽減。

### 就業前ラジオ体操

全従業員が始業時にストレッチ体操を実施している。

ストレッチ啓発柔軟性測定結果にもとづく指導。

腰痛患者がいない。

巡察時の労災予防の啓蒙。

高齢労働者に特化して実施はしていないが、安全衛生計画書へ明記のうえ周知・安全基本教育の実施・社内ホームページ内トレーニング動画の配信等を実施している。

年齢問わず全社員共通。25kg以上の重量物は1人で運搬しないのがルール。持ち上げる姿勢や連続作業・作業時の体調を考慮した作業指示など対応している。

ラジオ体操を毎朝行っている。

希望者へ腰痛軽減アシストベストを配布。

腰痛予防として「いきいき健康体操」の展開。

ラジオ体操

重い荷物の運搬をさける。毎朝ラジオ体操を実施。定期健康診断の実施。

腰痛・肩こり予防・eラーニングの実施。オリジナル・ストレッチヨガ動画の製作。理学療法士による「肩こり改善研修」の開催。

年齢に関係なく全従業員に対して、重量物の持ち方・腰への負担について資料を共有。

(ラジオ体操)

重量物運搬の低減。腰痛防止ベストやベルトの貸与。

年齢問わず、サポートベルトや電動可変式作業台を導入している。体力測定の実施(希望者のみ)ラジオ体操の推奨

年齢に関係なく腰痛予防対策(体操)の実施。

体力測定(健康イベント)毎朝ラジオ体操

高齢労働者に限定して実施しているものではないが、全国安全週間において、いきいき健康体操の体験会を開催するなど、適宜腰痛予防対策に取り組んでいる。

イントラにて予防動画などで予防喚起。

外部健康運動指導士による実技。

腰痛予防について啓蒙。保健指導員による保健指導。社内体操実施。

動画配信・セミナー等。

小集団活動MTにてストレッチ講座の実施。

電動のハンドリフトの使用。回転式ラップ巻き機の導入。

腰痛に関するセミナー開催。腰痛防止に関するアプリ利用。腰痛防止用椅子や立ち会議用機の導入。

年齢問わずセミナーの開催。

重量物作業はさせない。

#### (設問 8) 高年齢労働者の雇用に係る就労上の配慮

フレックスタイム制度を導入し、勤務の始終・休憩の取り方の自由度を高めた。

業務的内容的に、ハードな現場と比較的ソフトな現場が有るので、年齢に応じた対応を心がけている。

勤務の時間帯の選択や残業をなるべくしないよう配慮している。

車両運転業務に係る適正検査実施。

契約更新前に、面談を実施して就労に関する要望を確認しています。

「高齢者の健康管理に関するガイドライン」を制定しており、高年齢者の業務者負担への配慮、健康状態等に関する相談窓口設置等を行っている。

特定の業務種別に従事する高年齢労働者に対し、毎年、体力テストや健康状態のチェックを行い、産業医の所見も踏まえて継続就労の可否を判断している。

個々の特性に応じた配置変換(警備先変更)・働き方変更を実施している。

視環境の整備。作業動線やレイアウトの変更。負担の掛かる作業姿勢の改善。段差の防止や階段手すりの設置。熱中症対策等。

再雇用時の産業医面談の実施。

経験のある部署又は経験した部署に類似した部署に配置できるよう、配慮している。

高年齢労働者に限定せず全従業員を対象に、持病や介護等の事情がある方に勤務時間や休暇取得、健康相談などを実施。

# 高年齢労働者の安全と健康確保 についてのアンケート依頼書

名北労働基準協会は、名古屋大学、国立長寿医療研究センターなどによる、高年齢労働者の安全と健康確保についてのアンケート調査に協力しています。

高年齢労働者の就労が増加している社会背景を受け、高年齢労働者が安全に働ける職場環境の実現が求められています。本研究は、そのために必要な高年齢労働者への就労支援の内容を明らかにするために厚生労働省の科学研究費等を用いて実施され、今後のガイドライン策定などに活用される予定です。また、本アンケートのご回答から得られた情報は、適正な管理を行い、特定の事業所や個人などが明らかにならないようにしたうえで、関連学会や学術雑誌でも公表される予定です。ご多用のところ、大変恐縮ではございますが、職場における高年齢労働者の安全と健康の確保についての調査にご理解・ご協力お願い申し上げます。

一般社団法人 名北労働基準協会

## 【ご回答期間】

令和6年 10月 31日 まで

## 【ご回答方法】

アンケート用紙に直接ご回答を記入  
いただき、返送用封筒に入れてポスト  
へご投函ください。

## 【問い合わせ先】

一般社団法人 名北労働基準協会 事業企画推進部  
電話: 052-961-3655

名古屋大学大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学  
電話: 052-744-2128 (平日: 9:00~16:00)  
FAX: 052-744-2131 メール: p-health@med.nagoya-u.ac.jp



**3 貴事業所の労働災害の発生状況についてお聞きします。該当するものに☑してください。**

**① 過去概ね2年間(令和4年1月1日から令和5年12月31日)に、休業4日以上、および休業4日未満(1日以上)を要した労働災害の発生日数をそれぞれお答えください。**

**(1) 休業4日以上を要した労働災害**

貴事業所の労働者全体における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

貴事業所の高年齢労働者(被災時60歳以上の方)における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

休業4日以上を要した労働災害のうち、熱中症、中毒、腰痛(災害性腰痛含む)、脳心血管疾患、精神障害等の外傷に基づかない疾病の発生日数

貴事業所の労働者全体における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

貴事業所の高年齢労働者(被災時60歳以上の方)における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

**(2) 休業1日以上4日未満を要した労働災害**

貴事業所の労働者全体における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

貴事業所の高年齢労働者(被災時60歳以上の方)における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

休業4日未満を要した労働災害のうち、熱中症、中毒、腰痛(災害性腰痛含む)、脳心血管疾患、精神障害等の外傷に基づかない疾病の発生日数

貴事業所の労働者全体における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

貴事業所の高年齢労働者(被災時60歳以上の方)における発生日数

0人    1～4人    5～9人    10人以上

**② 貴事業所では、高年齢労働者に対する労働災害防止対策に取り組んでいますか。**

はい    いいえ



「はい」の場合、その具体的な内容はどのようなものですか。

例えば、高年齢労働者向けの体力測定、健康教室等のプログラムがあれば記入してください。年齢別を実施されている場合や職種によって異なる場合は、60～64歳は・・・、65歳からは・・・、事務職は・・・、現業職は・・・等と記載してください。

**4 貴事業所の産業保健体制についてお聞きします。それぞれ該当する方に☑してください。**

- |                        |                             |                              |
|------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 専属産業医（週3日以上貴事業所で勤務） | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| 2. 嘱託産業医（月数回程度）        | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| 3. 保健師（常勤・非常勤を問わない）    | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| 4. 看護師（常勤・非常勤を問わない）    | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |

**5 貴事業所では、高齢労働者に対して、身体的機能の低下等を踏まえた就業上の配慮（作業環境、労働時間、両立支援等）を行っていますか。該当するものに☑してください。**

60～64歳と65歳以上に分けてお聞きします。

1. 60～64歳の方に行っている     2. 65歳以上の方に行っている     3. していない



1及び2と回答された方にお聞きします。具体的に配慮している内容をご記入ください。

60～64歳の方へ配慮している内容をご記入ください。

65歳以上の方へ配慮している内容をご記入ください（60～64歳と同じなら「同上」等と記載で可）。

**6 貴事業所で私傷病（脳血管疾患、心疾患、筋骨格系疾患、がん、精神障害、糖尿病、骨折等）を抱える高齢労働者はいますか。該当するものに☑してください。**

（私傷病とは業務に起因しない病気やケガのこと）

1. 60～64歳の方にいる     2. 65歳以上の方にいる     3. 私傷病を抱える高齢労働者はいない



1及び2と回答された方にお聞きします。私傷病を抱える高齢労働者に対する配慮の具体的な内容を60～64歳と65歳以上に分けてご記入ください。

私傷病を抱える60～64歳の方へ配慮している内容をご記入ください。

私傷病を抱える65歳以上の方へ配慮している内容をご記入ください（「同上」等でも可）。

**7 貴事業所では、腰痛予防対策を実施していますか。該当するものに☑してください。**

60～64歳と65歳以上に分けてお聞きします。

1. 60～64歳の方に実施している     2. 65歳以上の方に実施している     3. 実施していない



**1及び2と回答された方にお聞きします。特に高年齢労働者に実施している腰痛予防対策の具体的な内容を60～64歳と65歳以上に分けてご記入ください。**

60～64歳の方に対する腰痛予防対策の内容をご記入ください。

65歳以上の方に対する腰痛予防対策の内容をご記入ください(「同上」等でも可)。

**8 高年齢労働者の雇用に係る就労上の配慮についてお伺いします。該当するものに☑してください。**

**① 作業遂行や雇用管理の点で何らかの配慮をしていますか。**

1. 特に配慮していない     2. 配慮している



**② ①で「2. 配慮している」を選んだ場合にお答えください。次に掲げる事項のうち、高年齢労働者の雇用上の配慮事項に関し、該当するものをすべて選んでください。**

- 短時間勤務等の勤務時間の配慮(勤務日数や時間を配慮)
- 休暇を取得しやすくする、勤務中の休憩を認める等休養への配慮(勤務時間中の休憩時間を長く取る等)
- 配置転換等人事管理面についての配慮(職責や交代勤務等の希望に配慮)
- 通院・服薬管理等の雇用管理上の配慮(通院時間やリハビリ時間等の確保)
- 駐車場、住宅の確保等の通勤への配慮
- 職場内における健康管理等の相談支援体制の確保
- 雇用管理に関するマニュアル等の整備(高年齢者特性に配慮した労務管理をはかるため)
- 職場での移動や作業を容易にする施設・設備・機器の改善(高年齢者特性に配慮した施設・設備の導入等)
- 業務実施方法についてのわかりやすい指示(高年齢者特性を踏まえた作業指示・マニュアル等作成)
- その他高年齢労働者の特性に配慮した対応を導入している場合、その内容を具体的に記載してください

**9** 貴事業所において高年齢の方に仕事をさせていただくために、どのようなことが課題とお考えですか。60～64歳と65歳以上に分けてお聞きします。(特になければ「なし」とお書きください。)

60～64歳の方についての課題をご記入ください。

65歳以上の方についての課題をご記入ください(「同上」等でも可)。

**10** 高年齢労働者の働き方を改善、あるいは能力を活用する上で、関係機関(国、県等地方公共団体、関連団体等)に支援を期待したいことについて、自由に記載してください。

質問は以上です。回答いただきありがとうございました。

## 病歴・生活習慣等に関するアンケートへの同意書

別添の説明書を読み、以下の通り回答します。

ご記入ください

### 愛知職域コホート研究に

協力します       協力しません

ご協力頂いた方にはアンケート調査のご回答結果に基づく、日常の身体活動量、心の健康度、活動能力指標などの結果を、後日フィードバックさせていただく予定です。

なお、愛知職域コホート研究には以下の内容が含まれます。

- 病歴・生活習慣等アンケート調査への回答
- 該当する病歴がある場合、受診医療機関への詳細についての情報照会
- がん登録からの情報提供
- 人口動態統計死因照合

上記のうち、ご協力いただけない項目がある場合のみ、以下に  を付けてください。

受診医療機関への情報照会     がん登録からの情報提供     人口動態統計死因照合

ご記入ください

携帯電話(スマートフォン等)の番号のご記入にご協力をお願いいたします。  
アンケートの受領確認や名古屋大学からのお知らせのショートメッセージをお送りさせて頂きたい  
と思っています。送信にご同意頂ける場合は、携帯電話番号のご記入とともに、以下の同意するに  を  
お願いします。

【電話番号】                      (電話番号はハイフンなしで  
左詰めでご記入ください。)

ショートメッセージの送信に

同意する       同意しない

ご記入ください

令和6年 _____ 月 _____ 日	代理の方がご記入の場合 フリガナ _____
本人自署 _____	代筆者氏名 _____
	続 柄 _____

研究代表者 名古屋大学大学院医学系研究科 八谷 寛 殿

退職派遣、知事部局外への異動や公立大学法人職員等で実際には退職されていない場合は  してください。ただし、アンケートにはお答えください。

今回お送りした住所に変更・修正がある場合は、 を入れて、下に正しい住所をご記入ください。

〒     -     ※マンション、アパート名までご記入ください。

\_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_

# 病歴等に関するアンケート

→ **NEW!** の質問は今回の調査より新しくお聞きしています。  
過去のご回答内容をお知りになりたい場合は、説明書に記載の研究事務局までお問い合わせください。

**1** 病歴、入院歴についてお伺いします。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。  
初めて入院された日をご記入ください。

入院されたことがない方、過去のご回答時から変化が無い方 → **2** へ

- 【心臓の病気】** はじめて入院された年月
1. 急性心筋梗塞による入院 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  2. 狭心症による入院 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  3. カテーテル治療(風船やステントなどで冠動脈を拡げる治療)による入院  
(昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  4. CABG(冠動脈のバイパスを作る手術)による入院  
(昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  5. 心房細動(入院の有無を問わず)をはじめて診断された年月  
(昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  6. その他の心臓病による入院(病名を下のカッコ内に記入してください。  
( )  
(昭和・平成・令和 88 年 88 月)

- 【脳の病気】**
7. 脳梗塞による入院 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  8. 脳出血による入院 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  9. くも膜下出血による入院 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)
  10. その他の脳の病気による入院(病名を下のカッコ内に記入してください。  
( )  
(昭和・平成・令和 88 年 88 月)

- 【がん】による入院**
11. 部位 ( )  
(昭和・平成・令和 88 年 88 月)

**NEW!**

**【がん】にかかられたことがある方へ。がん関連疲労に関する追加調査にご協力頂くことは可能でしょうか。**  
ご協力頂ける場合、後日、質問票を送付させていただきます。がんの既往歴のある方では、休息によって回復しない慢性的な疲労感(がん関連疲労)があり、日常生活に影響を及ぼす可能性が指摘されているため、その詳細を検討し、皆様のご生活に役立てていただけるような 公衆衛生的な知見を得ることを目的としています。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。以下にご協力頂けるかご記載願います(該当するほうの□に✓してください)。

詳細な調査に、  協力します  協力しません

- 【その他の病気】による入院**
12. 上記の1から11には該当しない病気

**2** 循環器疾患(心臓や脳の病気)の予防のために抗血小板薬<sup>1)</sup>や抗凝固薬<sup>2)</sup>などの血を固まりにくくする薬を内服していますか?

1. はい 2. いいえ 3. 以前あり  
「はい」の場合、その薬品名は何ですか? わかればご記入ください。( )

1) 抗血小板薬には次のような商品(カッコ内は一般名)があります。バイアスピリン(アスピリン)、プラビックス(クロピドグレル)、エフィエント(プラスグレル)、パナルジン(チクロピジン)、プレタール(シロスタゾール)など。  
2) 抗凝固薬には次のような商品(カッコ内は一般名)があります。ワーファリン(ワルファリン)、プラザキサ(ダビガトラン)、エリキュース(アピキサパン)、イグザレルト(リバーロキサパン)、リクシアナ(エドキサパン)など。

**3** あなたは今までに高血圧、糖尿病・耐糖能異常、脂質異常症(高脂血症)、高尿酸血症・痛風のどれかで、病医院へ通院したことがありますか？ あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. はい      2. いいえ      3. 過去回答と変わらない

4 へ

1. 高血圧 → 診断年月 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)  
現在、薬を使用していますか？ (は い・いいえ)  
「はい」の場合、その薬品名は何ですか？ わかればご記入ください。  
( )
2. 糖尿病 (耐糖能異常) → 診断年月 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)  
その病型を聞いたことがありますか？ (1型・2型・聞いたことがない)  
現在、薬を使用していますか？ (は い・いいえ)  
「はい」の場合、その薬品名は何ですか？ わかればご記入ください。  
( )  
現在、インスリン注射を使用していますか？ (は い・いいえ)
3. 脂質異常症 (高脂血症) → 診断年月 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)  
脂質異常の種類は何ですか？ 下の1~4から選んでください。  
1. 総またはLDLまたはnonHDLコレステロールが高い  
2. 中性脂肪(トリグリセライド)が高い  
3. HDL(善玉)コレステロールが低い  
4. 不明  
現在、薬を使用していますか？ (は い・いいえ)  
「はい」の場合、その薬品名は何ですか？ わかればご記入ください。  
( )
4. 高尿酸血症・痛風 → 診断年月 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)  
痛風発作はあります(ありました)か？ (は い・いいえ)  
現在、薬を使用していますか？ (は い・いいえ)  
「はい」の場合、その薬品名は何ですか？ わかればご記入ください。  
( )

NEW!

**4** 今までに慢性腎臓病で病医院へ通院したことがありますか？ ある方は以下についてお答えください。

診断年月 (昭和・平成・令和 88 年 88 月)

現在、薬を使用していますか？ (は い・いいえ)

「はい」の場合、その薬品名は何ですか？ わかればご記入ください。

( )

現在、透析をされていますか？ (は い・いいえ)

NEW!

**5** 今までに、医師から次の病気があるといわれたことがありますか？

あてはまるものすべての  に✓してください。

- ぜんそく     慢性閉塞性肺疾患(COPD)     慢性気管支炎  
 睡眠時無呼吸症候群(睡眠呼吸障害)

NEW!

**6** コロナ渦（2020年3月頃～2023年5月頃）のことについておききします。

1. 定期的な通院が困難でしたか？      1. はい      2. いいえ      3. 該当なし  
 2. 病気の通院を避けたことがありますか？      1. はい      2. いいえ      3. 該当なし  
 3. オンラインを利用して医療相談をしましたか？      1. はい      2. いいえ  
 4. 処方された薬の使用方法を遵守して、定期的に服用しましたか？      1. はい      2. いいえ

NEW!

**7** ご自宅で血圧を測定していますか？      1. はい      2. いいえ

### 今回お尋ねした病気の病歴がある方へ（**1**の「12. その他の病気」除く） それぞれの病気の主治医への病歴詳細調査にご協力ください

受診医療機関への情報照会にご協力いただける場合、以下にご記入ください。

複数の主治医にかかられている場合は、主治医ごとにご記入ください。

その主治医に複数の病気でかかられている場合は、すべての病名\*をご記入ください。

※今回お答えいただいた病気についてのみで結構です。

① 病医院名	主治医名
所在地 (市・町・村)	電話番号
通院(入院)病名	
② 病医院名	主治医名
所在地 (市・町・村)	電話番号
通院(入院)病名	
③ 病医院名	主治医名
所在地 (市・町・村)	電話番号
通院(入院)病名	

主治医への病歴詳細調査は、生活習慣病の種類に応じた適切な予防対策を講ずる際に重要な、罹られた病気の詳細な部位や型を知るために行います。こうした医学情報を知るために、あなたが通院している(していた)病院に研究事務局から問い合わせをする場合があります。このため、詳細調査にご協力いただける場合は通院中の(していた)病院名とその所在地、主治医名についてもご記入ください。これらの情報につきましても厳重に情報管理し、生活習慣と病気との関連についての研究以外の目的で使用することは一切ありませんので、ご理解の程よろしくお願いたします。なお、以前の調査時に既に主治医へ問い合わせさせて頂いた場合、同じ病歴について再度問い合わせることは、原則としてありません。

**病歴アンケートは以上です。**  
別添の生活習慣等のアンケートへのご回答にお進みください。

# 生活習慣等についてのアンケート

調査番号 \_\_\_\_\_

あなたの年齢をお教えてください。   歳

**1** どなたと一緒に住みますか？ 同居している すべての人 に  してください。

配偶者  子ども  父  母  その他  一人暮らし

**2** 現在の同居人数は何人ですか？（あなたは含めません。一人暮らしの場合は0とご記入ください。）

人（うち、14歳未満の子供   人）

**3** 現在の結婚状況などについて、該当する項目に  してください。

結婚・再婚・内縁  離婚  別居  死別  未婚  その他（ \_\_\_\_\_ ）

**4** あなたは、ご家族の介護や子や孫の育児をしていますか？ 介護や育児をしている時間をそれぞれ1週間あたりの時間でお教えてください。もし、介護や育児をしていないのであれば、0（ゼロ）と記入してください。なお、育児は、学校や習い事の送り迎え等も含まれます。

介護：  .  時間/週      育児（のお手伝い）：  .  時間/週

**5** 1週間を平均して、誰と食事をすることが最も多いですか？ 該当する項目に  してください。

自分一人で  同居家族  別居家族・親族  友人（職場以外）  職場の人  その他

**6** 現在の暮らしの状況は経済的にどう感じますか？ 該当する項目に  してください。

苦しい  やや苦しい  ややゆとりがある  ゆとりがある

**7** 過去1年間のうち、通常の1日（通勤、仕事、家事などすべて含めて）の“余暇以外の”体の動かし方の内訳（以下のA～D）をお教えてください。該当する時間区分に  してください。

	なかった	1時間未満	1～3時間未満	3～5時間未満	5～7時間未満	7～9時間未満	9～11時間未満	11時間以上
① 座っている時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 立っている時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 歩いている時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 力のいる作業をしている時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

8 過去1年間の、“余暇での”体の動かし方の内訳をお答えください。運動の種類ごとに、該当する頻度と、1回当たりの時間にそれぞれに☑してください。

	頻度						1回当たりの時間						
	行わない	月に1回未満	月に1～3回	週に1～2回	週に3～4回	ほぼ毎日	行わない	30分未満	30～59分	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
散歩などでゆっくり歩く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウォーキングなど早足で歩く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ゴルフ・ゲートボール・庭いじりなどの軽・中等度の運動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テニス・ジョギング・エアロビクス・水泳などの激しい運動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9 現在、お酒を飲みますか？ 最も当てはまる選択肢1つに☑、または回答してください。

飲む
  やめた
 飲まない

何歳の時お酒をやめましたか？   歳

やめた理由はなんですか？  
 病気をしたから    病気はしないが健康に悪いから    その他(経済的理由など)

どのくらいの頻度で飲みますか？(やめた方は飲んでいた頃のことを書いてください)

ほとんど飲まない → 質問 10 へ  
 月に1～3日    週に1～2日    週に3～4日    週に5～6日    毎日飲む

飲むときの量は平均するとどれくらい(何合くらい)でしょうか。複数のアルコールを飲む際は、下記を参考に合計した量を記載してください。(小数点以下は四捨五入してご記入ください)

合
 (参考)ビール：500mlで1合 / 日本酒：180mlで1合 / 焼酎：原液1合(180ml)で1.7合 / 缶チューハイ：500mlで1合 / ウイスキー・ブランデー：シングル(30ml)で0.5合 / ワイン：グラス(120ml)で0.6合 / ハーフボトル(375ml)で1.8合。

(上の設問での計算方法を参考にして)1度に3合を超える量を飲むことはありますか？ その頻度を教えてください。

ない    月に1度未満    月に1度    週に1度    ほぼ毎日

10 現在、たばこは吸っていますか？ 当てはまる選択肢に☑してください。

紙巻きたばこは吸っていますか？

吸っている    やめた    吸わない

加熱式たばこ(アイコス、グロー、ブルームなど)は吸っていますか？

吸っている    やめた    吸わない

11 過去1年間の通常の1日について、最も当てはまる選択肢1つに☑、または回答してください。

夜間の睡眠は1日通常   .  時間くらいとっています。(7時間30分の場合:   .  時間)

「朝型」か「夜型」か、と尋ねられたら、どちらに当てはまりますか？

明らかに「朝型」  「夜型というよりは「朝型」  「朝型」というよりは「夜型」  明らかに「朝型」

昼寝はしますか？

しない  週に1~2回  週に3~4回  週に5~6回  ほぼ毎日

↓  
1回の昼寝時間は

30分未満/回  30~59分/回  1~2時間未満/回  2~3時間未満/回  3時間以上/回

12 過去1か月間の睡眠の状態について、最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

寝床についてから30分以内に眠れなかったことがありますか？

ほとんどない  週に1回未満  週に1~2回  週に3~4回  週に5~6回  ほぼ毎日

夜間または早朝に目が覚めたことがありますか？

ほとんどない  週に1回未満  週に1~2回  週に3~4回  週に5~6回  ほぼ毎日

夜間または早朝に目が覚め、その後、寝付けなかったことがありますか？

ほとんどない  週に1回未満  週に1~2回  週に3~4回  週に5~6回  ほぼ毎日

朝起きたときにひどく疲れた感じがありましたか？

ほとんどない  週に1回未満  週に1~2回  週に3~4回  週に5~6回  ほぼ毎日

いびきをかきますか？

ほぼ毎日  ときどき  かない  わからない

睡眠中に呼吸が止まると言われたことがありますか？

ほぼ毎日  ときどき  全くない  わからない

13 最近1週間の体や心の状態について、最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

	全く/ほとんど なかった	たまにあった (1~2日)	しばしばあった (3~4日)	いつもあった (ほぼ毎日)
食べたくない。食欲がおちた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ゆううつだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
何をするのも面倒だ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
なかなか眠れない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生活について満足して過ごせる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人ぼっちでさびしい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皆がよそよそしいと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
毎日が楽しい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
悲しいと感じる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皆が自分を嫌がっていると感じる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仕事が手につかない。*	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

\* : 仕事をしていない場合は仕事に準ずるような活動があれば、その活動についてお答えください。特に思いつかないようでしたら空欄で結構です。

14 **現在**、以下の項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じていますか？最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

自分には人との付き合いがないと感じることがありますか。	<input type="checkbox"/> 決してない	<input type="checkbox"/> ほとんどない	<input type="checkbox"/> 時々ある	<input type="checkbox"/> 常にある
自分は取り残されていると感じることがありますか。	<input type="checkbox"/> 決してない	<input type="checkbox"/> ほとんどない	<input type="checkbox"/> 時々ある	<input type="checkbox"/> 常にある
自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。	<input type="checkbox"/> 決してない	<input type="checkbox"/> ほとんどない	<input type="checkbox"/> 時々ある	<input type="checkbox"/> 常にある

15 **現在**、①～⑤の各状況において、そのような人はいますか？もっとも当てはまる選択肢1つに☑してください。

	ほとんどない	たまにいます	時々ある	よくある	いつでも
① 必要な時に、あなたの話を聞いてくれる人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② なにか困ったことがあった時、よいアドバイスをくれる人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ あなたを心配したり、あなたに愛情をかけてくれる人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 日常の家事をしたり、手伝ってくれる人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ あなたに情緒的な支えを与えてくれるような人(たとえば、あなたの直面する問題について相談できる人、難しい判断が必要な時に助けてくれる人)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 必要な時に、いつでも連絡がとれる、親しくて、信頼・信用できる人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

16 あなたの**現在の**活動状況について、「はい」「いいえ」の最も該当する方に☑してください。

	はい	いいえ
携帯電話を使うことができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ATMを使うことができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ビデオやDVDプレイヤーの操作ができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
携帯電話やパソコンのメールができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スマートフォンに必要なアプリを入れて使用できますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国のニュースや出来事に関心がありますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
美術品、映画、音楽を鑑賞することができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
教育・教養番組を視聴していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生活の中でちょっとした工夫をすることができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
病人の看病ができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
孫や家族、知人の世話をしていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域のお祭りや行事などに参加していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
町内会・自治会で活動していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕活動やボランティア活動をしていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

17 あなたは**現在**、いきがいがあると感じていますか？ 最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

非常にある     ある     あまりない     まったくない

18 全体的にみて、あなたの**過去1ヶ月間**の健康状態はいかがでしたか？ 最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

最高に良い     より良い     良い     あまり良くない     良くない

19 身長、体重を教えてください。

身長：    cm    体重：    kg    (小数点以下は四捨五入してご記入ください)

20 **過去1年間**、市町村や職場で提供される健診・検診や個人的に病院などで受ける健診・検診(人間ドックなど)を受けましたか？ 該当する方に☑してください。

受けた     受けていない

21 日常生活におけるご自身の身体の状態はいかがでしょう？ 該当する方に☑してください。

身体に特に障害はない     身体に何らかの障害がある

22 要介護認定\*を受けたことがありますか？ 最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

\*認定調査を受けて要支援または要介護と認定されたこと

現在受けている     以前受けたが、現在は受けていない     受けたことが無い

↳ 要介護度はいくつですか？

要支援1     要支援2     要介護1     要介護2     要介護3     要介護4     要介護5

23 腰の痛みはありますか？ 該当する選択肢1つに☑してください。

はい     いいえ    → 質問 24 へ

↳ 痛みの強さは？

軽い     中くらい     強い     とても強い     想像を絶するほどの強さ

↳ 痛みの起こり方は？

ずっと続いている     数日間続いては治まる痛みを繰り返している

数日に一度短時間の痛みを感じる

24 膝の痛みはありますか？ 該当する選択肢1つに☑してください。

はい     いいえ    → 質問 25 へ

↳ 痛みの強さは？

軽い     中くらい     強い     とても強い     想像を絶するほどの強さ

↳ 痛みの起こり方は？

ずっと続いている     数日間続いては治まる痛みを繰り返している

数日に一度短時間の痛みを感じる

25 聴力についてお伺いします。以前に比べて耳の聞こえが悪くなりましたか？最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

悪くなった       変わらない      → 質問 26 へ

→ 聞こえが悪くなったことで普段の生活にはどれほど支障がありますか？補聴器等を使用している場合は、使用した状態での支障の程度をお答えください。

かなり支障がある       少し支障がある       ほとんど支障がない

→ 補聴器等は使用していますか？

日常的に使用している       時に使用している       使用していない

26 目の見え方についてお伺いします。以前に比べて目の見え方は悪くなりましたか？最も当てはまる選択肢1つに☑してください。

悪くなった       変わらない      → 質問 27 へ

→ 目の見え方が悪くなったことで普段の生活にはどれほど支障がありますか？老眼鏡等を使用している方は使用した状態での支障の程度をお答えください。

かなり支障がある       少し支障がある       ほとんど支障がない

→ 老眼鏡、拡大鏡等の見え方を補助する器具を使用していますか？

日常的に使用している       時に使用している       使用していない

27 歯や口の状況についてお伺いします。該当する方に☑してください。

自身の歯は何本ありますか？	<input type="checkbox"/> 0～19本	<input type="checkbox"/> 20本以上
半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
お茶や汁物でむせることがありますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
口の渇きが気になりますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

28 最近の状態についてお伺いします。該当する方に☑してください。

6ヶ月で2～3kgの体重減少がありましたか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5分前のことを思い出せますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがしますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

29 過去24時間のうちで、**だるさ、疲労感**があなたの生活にどれほど支障になりましたか？ (A)～(F) それぞれについてどれほど支障があったかを図を参考にし、0～10の数値でお答えください。

支障なし ←————→ 完全に支障になった 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
Ⓐ 日常生活の全般的活動	□□
Ⓑ 気持ち、情緒	□□
Ⓒ 歩行能力	□□
Ⓓ 通常の仕事(家庭外での仕事や毎日の生活における雑事を含む)	□□
Ⓔ 対人関係	□□
Ⓕ 生活を楽しむこと	□□

30 現在仕事をしていますか？ 該当する選択肢1つに☑してください。

- 現在仕事をしている (➡セクションA 31にお進みください)  
 現在仕事をしていないが、今後仕事をしたいと考えている (➡セクションB 40にお進みください)  
 現在仕事をしておらず、今後も仕事をする予定はない (➡セクションB 40にお進みください)

セクションA 「現在仕事をしている」と回答した方のみお答えください。

31 仕事の職種について、あてはまるものすべてに☑してください。(複数回答可)

- 管理的な仕事     専門的・技術的な仕事     事務的な仕事     販売の仕事  
 サービスの仕事     保安の仕事     農林漁業の仕事     生産工程・労務作業の仕事  
 運輸・通信の仕事     輸送・機械運転の仕事     運搬・清掃・包装などの仕事     その他

32 仕事の形態について、あてはまるもの1つに☑してください。

- 役員     正社員(正規職員)     再任用職員     パート・アルバイト     契約社員  
 嘱託     派遣労働者     出向     その他

33 現在の勤務形態について、あてはまるもの1つに☑してください。

- 交替勤務も、深夜勤務もない     交替勤務はないが、深夜勤務になることはある  
 交替勤務であるが、深夜勤務はない     交替勤務であり、深夜勤務もある

※交替勤務とは1日を3直ないし2直に分けてその各直を数日周期で交替して勤務するように直が変化する勤務形態です。

34 おもな通勤方法(距離のもっとも長いもの)は何ですか？ あてはまるもの1つに☑してください。

- マイカー、バイク     公共交通機関(電車、バス、地下鉄)     自転車     歩行  
 自営・在宅ワークなので、通勤はない

35 片道の通勤所要時間は平均すると何分ぐらいですか？

通勤の無い方は0と記入ください。

片道 □□ 分

36 平均すると週に何回程度通勤していますか？通勤の無い方は0と記入ください。（小数点以下は四捨五入してご記入ください）

1週間に   回

37 先月の状況でお答えください。平均すると勤務日1日当たりの勤務時間はおおむね何時間ですか？（小数点以下は四捨五入してご記入ください）

1日当たり   時間

38 ④～⑥について、それぞれ該当する選択肢1つに☑してください。

	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
④ 非常にたくさんの仕事をしなければならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 時間内に仕事が処理しきれない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 一生懸命働かなければならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 自分のペースで仕事ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

39 働く理由は何でしょうか？該当するものをすべてに☑し、その中で最も該当するものの番号を記載してください。

<input type="checkbox"/> ① 生計を立てるため	<input type="checkbox"/> ② 自由に使えるお金を得るため
<input type="checkbox"/> ③ 体調・体力に自信があるから	<input type="checkbox"/> ④ 健康を維持するため・老化を予防するため
<input type="checkbox"/> ⑤ 自分の経験・能力を活かすため	<input type="checkbox"/> ⑥ 仕事に必要な能力が十分にあるため
<input type="checkbox"/> ⑦ 今までの地位、肩書を維持するため	<input type="checkbox"/> ⑧ 仕事そのものが楽しいから
<input type="checkbox"/> ⑨ 友人や話し相手が欲しいから	<input type="checkbox"/> ⑩ 働かないと時間を持て余すから
<input type="checkbox"/> ⑪ 働いてほしいと頼まれたから	

上で☑したもののうち、最も該当するものの番号

**セクションB（働いていない方）**

40 働いていない方（求職中の方も含む）にお尋ねします。働いていない理由は何でしょうか。該当するものをすべてに☑し、その中で最も該当するものの番号を記載してください。

<input type="checkbox"/> ① 経済的には働く必要がない	<input type="checkbox"/> ② 働き続けるための体調・体力に自信がない
<input type="checkbox"/> ③ 自分の経験・能力にみあった仕事がない	<input type="checkbox"/> ④ 仕事に必要な能力が低下した
<input type="checkbox"/> ⑤ 趣味・楽しみや社会活動で忙しい	<input type="checkbox"/> ⑥ 人間関係が煩わしい
<input type="checkbox"/> ⑦ 介護や育児手伝いのため	<input type="checkbox"/> ⑧ 勤務形態、就業時間など調整ができそうにない
<input type="checkbox"/> ⑨ 持病のため	<input type="checkbox"/> ⑩ 仕事に関する情報を得る方法がわからない
<input type="checkbox"/> ⑪ 働いてほしいと頼まれない	

上で☑したもののうち、最も該当するものの番号

**アンケートはこれで終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。**

## 高年齢労働者数による事業所の特性の検討

研究協力者 高田 碧<sup>1</sup>

研究分担者 八谷 寛<sup>1</sup>

研究代表者 大塚 礼<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 名古屋医学部・大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学

<sup>2</sup> 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所 老化疫学研究部

### 【背景】

事業所で働く高年齢労働者数に応じた事業所の特性を評価することを目的とした。

### 【方法】

#### 研究対象

高年齢労働者の安全と健康確保についてのアンケートに回答した 259 の事業所を解析対象とした。

#### 事業所の特性の評価

事業所の特性を示す各要因について、「事業所の業種」を、「建設業」、「製造業」、「電気・ガス業」、「情報通信業」、「運輸業」、「商業」、「金融業・保険業」、「宿泊業・飲食店業」、「医療・福祉・保健衛生業」、「サービス業」、「その他」の選択肢で聴取した。「事業所の全労働者数」を、「1～9 人」、「10～49 人」、「50～299 人」、「300～499 人」、「500～999 人」、「1000 人以上」の選択肢で聴取した。「エイジフレンドリーガイドラインの認知」は、「知らない」、「知っている」の選択肢で聴取した。「事業所の高年齢労働者（被災時 60 歳以上の方）における休業 4 日以上を要した労働災害の発生者数：休業 4 日以上労働災害」、「事業所の高年齢労働者における休業 4 日以上を要した労働災害のうち、熱中症、中毒、腰痛（災害性腰痛含む）、脳心血管疾患、精神障害等の外傷に基づかない疾病の発生者数：休業 4 日以上熱中症等労働災害」、「事業所の高年齢労働者における休業 1 日以上 4 日未満を要した労働災害の発生者数：休業 1～4 日労働災害」、「事業所の高年齢労働者における休業 1 日以上 4 日未満を要した労働災害のうち、熱中症等の疾病の発生者数：休業 1～4 日熱中症等労働災害」について、「0 人」、「1～4 人」、「5～9 人」、「10 人以上」の選択肢で聴取した。「高年齢労働者に対する労働災害防止対策への取り組み」は、「はい：取り組んでいる」、「いいえ：取り組んでいない」の選択肢で聴取した。事業所の産業保健体制について、専属産業医、嘱託産業医、保健師、看護師それぞれについて「いない」、「いる」の選択肢で聴取した。「高年齢労働者に対する就業上の配慮」は、「配慮している」、「していない：チェックなし」の選択肢で聴取した。「高年齢労働者に対する腰痛予防対策」は、「実施している」、「実施していない：チェックなし」の選択肢で聴取した。「作業遂行や雇用管理の配慮」は、「配慮なし」、「配慮あり」とした。「作業遂行や雇用管理の配慮」の種類として「勤務時間の配慮」、「休養への配慮」、「人事管理への配慮」、「通院・服薬等雇用管理への配慮」、「通勤への配慮」、「相談支援体制」、「マニュアル整備」、「施設・設備・機器の改善」、「わかりやすい指示」について、それぞれの実施の有無を聴取した。

#### 統計解析

60-64 歳、65 歳以上の高年齢労働者数別に、事業所の特性を事業所数とパーセントで示し、カイ 2 乗検定を用いて比較した。統計解析はすべて、SAS 9.4 版を使用し、統計学的有意性は p 値が 0.05 未満の場合とした。

### 【結果】

表 1 に 60-64 歳の高年齢労働者数別の事業所の特性を示す。60-64 歳の高年齢労働者数が多いほど、全労働者数の多い事業所、エイジフレンドリーガイドラインを知っている事業所、労働災害発生数、高年齢労働者に対する労働災害防止対策を行っている事業所、専属産業医、嘱託産業医、保健師、看護師がいる事業所、就業

上の配慮をしている事業所が多かった。作業遂行や雇用管理配慮として、通院・服薬等雇用管理への配慮、相談支援体制を配慮している事業所は、60-64歳の高年齢労働者数が多いほど多かった。

表2に65歳以上の高年齢労働者数別の事業所の特性を示す。65歳以上の高年齢労働者数が多いほど、全労働者数の多い事業所、エイジフレンドリーガイドラインを知っている事業所、労働災害発生数、高年齢労働者に対する労働災害防止対策を行っている事業所、就業上の配慮をしている事業所、腰痛予防対策を実施している事業所、勤務時間の配慮をしている事業所、通院・服薬等雇用管理への配慮をしている事業所、相談支援体制、マニュアル整備、施設・設備・機器の改善、わかりやすい指示といった配慮をしている事業所が多かった。

### 【考察】

60-64歳および65歳以上の高年齢労働者数が多い事業所では、全労働者数が多い傾向がみられ、事業所規模が大きいことがうかがえる。また、いずれの年齢層においても高年齢労働者数が多い事業所ほど、エイジフレンドリーガイドラインを認知している割合が高く、労働災害防止対策や就業上の配慮を実施している事業所が多かった。特に、65歳以上の労働者数が多い事業所では、腰痛予防対策、勤務時間への配慮、マニュアル整備や設備改善、わかりやすい指示の提供など、より多様かつ具体的な配慮を実施している事業所が多かった。これらの結果から、高年齢労働者の雇用にあたり、労働災害防止や就業支援体制の整備が重要であり、年齢が高いほどより多角的な対応が求められることを示唆された。

表1. 60-64歳の高年齢労働者数別の事業所の特性

事業所の業種	0人		1~9人		10~29人		60-64歳の高年齢労働者数 30~49人		50人以上		不明		欠損値		p値
	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	事業所数	%	
事業所の業種															0.593
(01)建設業	3	25.0	23	20.9	22	26.2	4	23.5	5	15.2	0	0.0	1	100.0	
(02)製造業	2	16.7	38	34.6	22	26.2	2	11.8	9	27.3	2	66.7	0	0.0	
(03)電気・ガス業	0	0.0	1	0.9	1	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
(04)情報通信業	0	0.0	1	0.9	4	4.8	0	0.0	2	6.1	1	33.3	0	0.0	
(05)運輸業	2	16.7	4	3.6	6	7.1	2	11.8	3	9.1	0	0.0	0	0.0	
(06)商業	0	0.0	14	12.7	7	8.3	3	17.7	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
(07)金融業・保険業	0	0.0	5	4.6	5	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
(09)医療・福祉・保健衛生業	0	0.0	2	1.8	2	2.4	2	11.8	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
(10)サービス業	2	16.7	8	7.3	6	7.1	2	11.8	5	15.2	0	0.0	0	0.0	
(11)その他	3	25.0	14	12.7	7	8.3	2	11.8	7	21.2	0	0.0	0	0.0	
(12)欠損値	0	0.0	0	0.0	2	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
事業所の全労働者数															<.0001
(01)1~9人	6	50.0	4	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
(02)10~49人	5	41.7	45	40.9	3	3.6	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
(03)50~299人	1	8.3	60	54.6	68	81.0	6	35.3	3	9.1	1	33.3	1	100.0	
(04)300~499人	0	0.0	1	0.9	10	11.9	4	23.5	7	21.2	1	33.3	0	0.0	
(05)500~999人	0	0.0	0	0.0	2	2.4	3	17.7	12	36.4	1	33.3	0	0.0	
(06)1000人以上	0	0.0	0	0.0	1	1.2	2	11.8	11	33.3	0	0.0	0	0.0	
(07)欠損値	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
エイジフレンドリーガイドライン															<.0001
(01)知っている	2	16.7	38	34.6	39	46.4	8	47.1	20	60.6	0	0.0	0	0.0	
(02)知らない	10	83.3	70	63.6	45	53.6	9	52.9	12	36.4	3	100.0	0	0.0	
(03)欠損値	0	0.0	2	1.8	0	0.0	0	0.0	1	3.0	0	0.0	1	100.0	
高年齢労働者の休業4日以上労働災害															<.0001
(01)0人	11	91.7	101	91.8	70	83.3	16	94.1	19	57.6	3	100.0	0	0.0	
(02)1~4人	0	0.0	2	1.8	8	9.5	1	5.9	12	36.4	0	0.0	1	100.0	
(03)5~9人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
(04)10人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
(05)欠損値	1	8.3	7	6.4	6	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
高年齢労働者の休業4日以上熱中症等労働災害															<.0001
(01)0人	11	91.7	96	87.3	73	86.9	15	88.2	27	81.8	3	100.0	0	0.0	
(02)1~4人	0	0.0	1	0.9	3	3.6	1	5.9	6	18.2	0	0.0	1	100.0	
(05)欠損値	1	8.3	13	11.8	8	9.5	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
高年齢労働者の休業1日以上等労働災害															0.0001
(01)0人	11	91.7	99	90.0	74	88.1	16	94.1	22	66.7	3	100.0	0	0.0	
(02)1~4人	0	0.0	4	3.6	5	6.0	1	5.9	10	30.3	0	0.0	1	100.0	
(03)5~9人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
(05)欠損値	1	8.3	7	6.4	5	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
高年齢労働者の休業1日以上熱中症等労働災害															<.0001
(01)0人	11	91.7	97	88.2	73	86.9	15	88.2	27	81.8	3	100.0	0	0.0	
(02)1~4人	0	0.0	2	1.8	1	1.2	1	5.9	5	15.2	0	0.0	1	100.0	
(05)欠損値	1	8.3	11	10.0	10	11.9	1	5.9	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
高年齢労働者に対する労働災害防止対策															0.005
(01)はい	2	16.7	16	14.6	18	21.4	9	52.9	16	48.5	1	33.3	1	100.0	
(02)いいえ	9	75.0	87	79.1	61	72.6	8	47.1	16	48.5	2	66.7	0	0.0	
(03)欠損値	1	8.3	7	6.4	5	6.0	0	0.0	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
専属産業医															<.0001
(01)いる	0	0.0	1	0.9	9	10.7	1	5.9	9	27.3	1	33.3	0	0.0	
(02)いない	11	91.7	101	91.8	67	79.8	13	76.5	20	60.6	2	66.7	0	0.0	
(03)欠損値	1	8.3	8	7.3	8	9.5	3	17.7	4	12.1	0	0.0	1	100.0	

嘱託産業医															0.005
(01)いる	3	25.0	67	60.9	64	76.2	13	76.5	28	84.9	3	100.0	1	100.0	
(02)いない	9	75.0	42	38.2	18	21.4	3	17.7	4	12.1	0	0.0	0	0.0	
(03)欠損値	0	0.0	1	0.9	2	2.4	1	5.9	1	3.0	0	0.0	0	0.0	
保健師															<.0001
(01)いる	0	0.0	11	10.0	20	23.8	7	41.2	18	54.6	1	33.3	0	0.0	
(02)いない	11	91.7	93	84.6	56	66.7	7	41.2	13	39.4	2	66.7	0	0.0	
(03)欠損値	1	8.3	6	5.5	8	9.5	3	17.7	2	6.1	0	0.0	1	100.0	
看護師															0.001
(01)いる	0	0.0	7	6.4	8	9.5	2	11.8	10	30.3	1	33.3	0	0.0	
(02)いない	11	91.7	97	88.2	66	78.6	13	76.5	19	57.6	2	66.7	0	0.0	
(03)欠損値	1	8.3	6	5.5	10	11.9	2	11.8	4	12.1	0	0.0	1	100.0	
就業上の配慮(60~64歳)															0.038
(01)60~64歳に配慮している	1	8.3	33	30.0	37	44.1	10	58.8	15	45.5	1	33.3	0	0.0	
(02)チェックなし	11	91.7	77	70.0	47	56.0	7	41.2	18	54.6	2	66.7	1	100.0	
腰痛予防(60~64歳)															0.115
(01)腰痛予防(60~64歳)実施	1	8.3	15	13.6	17	20.2	4	23.5	12	36.4	1	33.3	0	0.0	
(02)チェックなし	11	91.7	95	86.4	67	79.8	13	76.5	21	63.6	2	66.7	1	100.0	
作業遂行や雇用管理配慮															0.186
(01)作業遂行や雇用管理配慮なし	6	50.0	50	45.5	25	29.8	5	29.4	7	21.2	1	33.3	1	100.0	
(02)作業遂行や雇用管理配慮あり	5	41.7	53	48.2	54	64.3	11	64.7	26	78.8	2	66.7	0	0.0	
(03)欠損値	1	8.3	7	6.4	5	6.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
配慮(勤務時間の配慮)															0.171
(01)勤務時間の配慮への配慮	3	25.0	40	36.4	42	50.0	8	47.1	19	57.6	1	33.3	0	0.0	
(02)チェックなし	9	75.0	70	63.6	42	50.0	9	52.9	14	42.4	2	66.7	1	100.0	
配慮(休養への配慮)															0.776
(01)休養への配慮	2	16.7	18	16.4	20	23.8	4	23.5	8	24.2	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	10	83.3	92	83.6	64	76.2	13	76.5	25	75.8	3	100.0	1	100.0	
配慮(人事管理への配慮)															0.249
(01)人事管理面についての配慮	3	25.0	27	24.6	28	33.3	6	35.3	16	48.5	1	33.3	0	0.0	
(02)チェックなし	9	75.0	83	75.5	56	66.7	11	64.7	17	51.5	2	66.7	1	100.0	
配慮(通院・服薬等雇用管理への配慮)															0.008
(01)雇用管理上の配慮	1	8.3	13	11.8	20	23.8	7	41.2	12	36.4	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	11	91.7	97	88.2	64	76.2	10	58.8	21	63.6	3	100.0	1	100.0	
配慮(通勤への配慮)															0.911
(01)通勤への配慮	1	8.3	5	4.6	6	7.1	0	0.0	2	6.1	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	11	91.7	105	95.5	78	92.9	17	100.0	31	93.9	3	100.0	1	100.0	
配慮(相談支援体制)															0.0004
(01)相談支援体制の確保	1	8.3	13	11.8	16	19.1	7	41.2	15	45.5	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	11	91.7	97	88.2	68	81.0	10	58.8	18	54.6	3	100.0	1	100.0	
配慮(マニュアル整備)															0.174
(01)マニュアル等の整備	0	0.0	2	1.8	6	7.1	0	0.0	4	12.1	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	12	100.0	108	98.2	78	92.9	17	100.0	29	87.9	3	100.0	1	100.0	
配慮(施設・設備・機器の改善)															0.155
(01)施設・設備・機器の改善	0	0.0	3	2.7	6	7.1	3	17.7	4	12.1	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	12	100.0	107	97.3	78	92.9	14	82.4	29	87.9	3	100.0	1	100.0	
配慮(わかりやすい指示)															0.942
(01)わかりやすい指示	1	8.3	3	2.7	4	4.8	1	5.9	2	6.1	0	0.0	0	0.0	
(02)チェックなし	11	91.7	107	97.3	80	95.2	16	94.1	31	93.9	3	100.0	1	100.0	

# 高齢労働者の特性と、年齢層・性別・主観的健康状態による検討

研究協力者 高田 碧<sup>1</sup>

研究分担者 八谷 寛<sup>1</sup>

研究代表者 大塚 礼<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 名古屋医学部・大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学

<sup>2</sup> 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所 老化疫学研究部

## 【背景】

本研究では、高齢労働者の特性について、年齢層、性別、および主観的健康状態に着目して検討することを目的とした。

## 【方法】

### 研究対象者

愛知職域コホート研究の2024年度の退職者調査における生活習慣等についてのアンケートに解答した3181名のうち、59歳以下の者(n=242)、現在仕事をしていない者(n=1396)、主観的健康状態についての回答に欠損のある者(n=14)を除外して得られた1529名(男性1276名、女性253名)を解析対象とした。

### 高齢労働者の特性を示す各要素の評価

高齢労働者の特性を示す各要素として、過去1か月間の睡眠の状態(寝床についてから30分以内に眠れなかったこと、夜間または早朝に目が覚めたこと、夜間または早朝に目が覚めその後寝付けなかったこと、朝起きたときのひどく疲れた感じ、いびき、睡眠中の呼吸)、抑うつ状態、孤独感、ソーシャルサポート、JST版活動能力指標、いきがい、肥満度、健診・検診受診状況、身体の障害の有無、要介護認定、腰の痛み、膝の痛み、聴力、目の見え方、オーラルフレイル、フレイルを評価した。

過去1か月間の睡眠の状態のうち、寝床についてから30分以内に眠れなかったこと、夜間または早朝に目が覚めたこと、夜間または早朝に目が覚め、その後寝付けなかったこと、朝起きたときのひどく疲れた感じについては、それぞれ「寝床についてから30分以内に眠れなかったことがありましたか?」、「夜間または早朝に目が覚めたことがありましたか?」、「夜間または早朝に目が覚め、その後寝付けなかったことがありましたか?」、「朝起きたときにひどく疲れた感じがありましたか?」の質問に対し、「ほとんどない」、「週に1回未満」、「週に1~2回」、「週に3~4回」、「週に5~6回」、「ほぼ毎日」の選択肢から回答を得た。いびきについては、「いびきをかきますか?」の質問に対し、「ほぼ毎日」、「ときどき」、「かかない」、「わからない」の選択肢から回答を得た。睡眠中の呼吸については、「睡眠中に呼吸が止まると言われたことがありますか?」の質問に対し、「ほぼ毎日」、「ときどき」、「全くない」、「わからない」の選択肢から回答を得た。

抑うつ状態は、Center for Epidemiologic Studies Depression Scale 日本語短縮(11項目)を用いて評価した。具体的には、「最近1週間の体や心の状態について、最も当てはまる選択肢1つにマークしてください。」という質問に対し、「食べたくない、食欲がおちた」、「ゆううつだ」、「何をしても面倒だ」、「なかなか眠れない」、「一人ぼっちでさびしい」、「皆がよそよそしいと思う」、「悲しいと感じる」、「皆が自分を嫌っていると感じる」、「仕事が手につかない」の各項目への回答のうち、「全く/ほとんどなかった」を0点、「たまにあった」を1点、「しばしばあった」、「いつもあった」を2点とした。「生活に満足して過ごせる」、「毎日が楽しい」の逆転項目では「全く/ほとんどなかった」を2点、「たまにあった」を1点、「しばしばあった」、「いつもあった」を0点とした。合計点数を算出し、8点以上を「抑うつ状態あり」とした。

孤独感は、「UCLA孤独感尺度」の日本語版の3項目短縮版を用いて評価した。具体的には、「自分には人との付き合いがないと感じることがありますか。」、「自分は取り残されていると感じることがありますか。」、「自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。」というそれぞれの質問への回答について、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点として、その合計点数について「10~12点」(常にある)、「7~9点」(時々ある)、「4~6点」(ほとんどない)、「3点」(決してない)とした。

ソーシャルサポートは、ENRICHD(Enhancing Recovery in Coronary Heart Disease)試験で使用されたソーシャルサポートの質問票(ENRICHD Social Support Instrument: ESSI)を用いて評価した。具体的には、「現在、A~Fの各状況におい

て、そのような人はいますか？」という質問に対し、「A. 必要な時に、あなたの話を聞いてくれる人」、「B. 何か困ったことがあった時、よいアドバイスをくれる人」、「C. あなたを心配したり、あなたに愛情をかけてくれる人」、「D. 日常の家事をしたり、手伝ってくれる人」、「E. あなたに情緒的な支えを与えてくれるような人」、「F. 必要な時に、いつでも連絡がとれる、親しくて、信頼・信用できる人」の各項目への回答のうち、「ほとんどいない」を1点、「たまにいる」を2点、「ときどきいる」を3点、「よくいる」を4点、「いつでもいる」を5点とした。また、婚姻状況について「結婚・再婚・内縁」を4点、「離婚」、「別居」、「死別」、「未婚」、「その他」を2点とした。項目Dと「婚姻状況」を除く少なくとも2項目で得点が3点以下であり、かつ項目A、B、C、E、Fの合計スコアが18以下である場合に「低いソーシャルサポート」とした。

JST版活動能力指標は、「あなたの現在の活動状況について、はい、いいえの最も該当する方に☑してください。」という質問に対し、「携帯電話を使うことができますか?」、「ATMを使うことができますか?」、「ビデオやDVDプレイヤーの操作ができますか?」、「携帯電話やパソコンのメールができますか?」、「外国のニュースや出来事に興味がありますか?」、「健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか?」、「美術品、映画、音楽を鑑賞することができますか?」、「教育・教養番組を視聴していますか?」、「詐欺・ひったくり・空き巣などの被害にあわないよう対策をしていますか?」、「生活の中でちょっとした工夫をすることはありますか?」、「病人の看病ができますか?」、「孫や家族、知人の世話をしていますか?」、「地域のお祭りや行事に参加していますか?」、「町内会・自治会で活動していますか?」、「自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか?」、「奉仕活動やボランティア活動をしていますか?」の各項目への回答のうち、「はい」を1点、「いいえ」を0点とし、合計点数を算出した。なお、JST版活動能力指標には含まれていないが、「スマートフォンに必要なアプリを入れて使用できますか?」についても活動能力の一つとして調査した。

いきがいは、「あなたは現在、いきがいがあると感じていますか? 最も当てはまる選択肢1つに☑してください。」の質問に対し、「非常にある」、「ある」、「あまりない」、「まったくない」の選択肢から回答を得た。

肥満度は自記式の身長、体重から、Body mass index (kg/m<sup>2</sup>)を算出し、「BMI25以上」と「BMI25未満」に分類した。

健診・検診受診状況は、「過去1年間、市町村や職場で提供される健診・検診や個人的に病院などで受ける健診・検診(人間ドックなど)を受けましたか?」の質問に対し、「受けた」、「受けていない」の選択肢から回答を得た。

身体の障害の有無は、「日常生活におけるご自身の身体の状態はいかがででしょうか?」の質問に対し、「身体に特に障害はない」、「身体に何らかの障害がある」の選択肢から回答を得た。

腰・膝の痛みは、腰・膝それぞれについて「腰(膝)の痛みはありますか?」の質問に対し、「はい」、「いいえ」の選択肢から回答を得た。

聴力、目の見え方は、それぞれについて「以前に比べて耳の聞こえ(目の見え方)が悪くなりましたか?」の質問に対し、「悪くなった」、「変わらない」の選択肢から回答を得た。

オーラルフレイルは、オーラルフレイルのチェック項目(Oral frailty 5-item Checklist:OF-5)を用いて評価した。具体的には、「自身の歯は、何本ありますか?」の質問への回答について、「0~19本」を1点、「20本以上」を0点、「半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか?」、「お茶や汁物等でむせることがありますか?」、「口の渇きが気になりますか?」、「普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか?」というそれぞれの質問への回答について、「はい」を1点、「いいえ」を0点として、その合計点数について2点以上を「オーラルフレイルあり」とした。

フレイルは、簡易フレイル・インデックスを用いて評価した。具体的には、「6か月間で2~3kgの体重減少がありましたか?」、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか?」、「ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか?」、「5分前のことが思い出せますか?」、「(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがしますか?」というそれぞれの質問への回答について、「はい」を1点、「いいえ」を0点として、その合計点数について3点以上を「フレイルあり」とした。

## 層別化因子の評価

層別化因子として、年齢層「60-64歳」、「65歳以上」、性別「男性」、「女性」、主観的健康状態を用いた。主観的健康状態は、「あなたの過去1か月間の健康状態はいかがでしたか?」という質問に対し、「最高に良い」、「より良い」、「良い」、「あまり良くない」、「良くない」の選択肢から回答を得て、「良い:最高に良い、より良い、良い」、「良くない:あまり良くない、良くない」に分類した。

## 統計解析

まず全体の高年齢労働者の特性をカテゴリ変数については人数とパーセント、連続変数については平均値と標準偏差で示した。続いて、年齢層別、男女別、主観的健康状態別の高年齢労働者の特性をカテゴリ変数については人数とパー

セント、連続変数については平均値と標準偏差で示し、カテゴリ変数についてはカイ2乗検定、連続変数についてはt検定を用いて比較した。統計解析はすべて、SAS 9.4版を使用し、統計学的有意性はp値が0.05未満の場合とした。

## 【結果】

表1に全体の高年齢労働者の特性を示す。過去1か月間の睡眠の状態について、「寝床についてから30分以内に眠れなかったこと」、「夜間または早朝に目が覚めその後寝付けなかったこと」、「朝起きたときのひどく疲れた感じ」は「ほとんどない」が最も多く、半数以上を占めていたのに対し、「夜間または早朝に目が覚めたこと」は「ほぼ毎日」が37.3%と最も多かった。「いびき」、「睡眠中に呼吸が止まること」について、「ほぼ毎日」、「ときどき」と解答した者の合計はそれぞれ52.8%、19.6%だった。「抑うつ状態あり」と解答した者は15.4%だった。「孤独感」について、「時々ある」、「常にある」と解答した者の合計は、34.7%だった。ソーシャルサポートについて、「低いソーシャルサポート」に該当する者は、39.6%だった。「いきがい」が「非常にある」、「ある」と解答した者の合計は、73.5%だった。肥満度について「BMI25以上」は23.0%だった。健診・検診を「受けた」者は92.3%だった。「身体に何らかの障害がある」と解答した者は、17.5%だった。要介護認定を「現在受けている」のは0.1%だった。腰・膝の痛みについて「はい」と解答した者はそれぞれ42.6%、27.5%だった。耳の聞こえ・目の見え方に「悪くなった」と解答した者はそれぞれ42.1%、62.6%だった。「オーラルフレイルあり」に該当した者は、30.5%だった。「フレイル」に該当した者は32.4%だった。活動能力指標の平均値は13点だった。

表2に年齢層別の高年齢労働者の特性を示す。「いきがいあり」、「耳の聞こえが悪くなった」、「オーラルフレイルあり」、「フレイルあり」、「活動能力指標の得点」は、65歳以上で有意に多かった。一方、「朝起きたときひどく疲れた感じ」、「いびき」、「抑うつ状態あり」、「孤独感あり」、「低いソーシャルサポート」、「健診・検診の受診あり」は、60-64歳で有意に多かった。

表3に男女別の高年齢労働者の特性を示す。「夜間または早朝に目が覚めたこと」、「いびき」、「睡眠中に呼吸が止まること」、「低いソーシャルサポート」、「BMI25以上」は、男性で有意に多かった。一方、「目の見え方が悪くなった」は、女性で有意に多かった。

表4に主観的健康状態別の高年齢労働者の特性を示す。「寝床についてから30分以内に眠れなかったこと」、「夜間または早朝に目が覚めたこと」、「夜間または早朝に目が覚めその後寝付けなかったこと」、「朝起きたときのひどく疲れた感じ」、「抑うつ状態あり」、「孤独感あり」、「低いソーシャルサポート」、「身体に何らかの障害がある」、「腰・膝の痛みあり」、「耳の聞こえ・目の見え方が悪くなった」、「オーラルフレイルあり」、「フレイルあり」は、主観的健康状態が良くない群で有意に多かった。一方、「睡眠中に呼吸が止まること」、「いきがいあり」、「健診・検診の受診あり」、「活動能力指標の得点」は、主観的健康状態が良い群で有意に多かった。

## 【考察】

高年齢労働者の約半数が、いびき、腰の痛み、耳の聞こえ・目の見え方の悪化といった問題を抱えていた。また約3割に、夜間または早朝に目が覚めたこと、孤独感あり、低いソーシャルサポート、膝の痛み、オーラルフレイル、フレイルといった問題が認められた。一方で、いきがいをもっている者が約7割、健診・検診を受診している者が約9割と多い点は好ましい点と考えられた。

また、「耳の聞こえが悪くなった」、「オーラルフレイルあり」、「フレイルあり」といった身体的な課題は65歳以上の集団で多く、「抑うつ状態あり」、「孤独感あり」、「低いソーシャルサポート」といった心理・社会的な課題は60-64歳の集団で多かったことから、年齢層によって高年齢労働者の抱える問題点が異なることが伺えた。男女別に検討したところ、「夜間または早朝に目が覚めたこと」、「いびき」、「睡眠中に呼吸が止まること」、「低いソーシャルサポート」、「BMI25以上」といった睡眠に関する問題、社会的な課題、身体的な問題は男性に多く、「目の見え方の悪化」といった一部の身体的な問題は女性に多かった。主観的健康状態が良くない高年齢労働者は、主観的健康状態が良い高年齢労働者に比べて、多くの課題を抱えていることが示唆された。一般に、就労している高齢者は、非就労の高齢者よりも主観的健康状態が良好であると考えられるが、実際には就労者の中にも健康状態が良くない層が一定数存在しており、そうした層が直面している困難の多さが明らかになった。

高年齢労働者は、年齢や性別によって異なる課題を抱えており、特に主観的健康状態が良くない層では多面的な支援が必要である可能性が示唆された。

表1. 高齢労働者の特性

	度数	パーセント
30分以内に眠れなかったこと		
(1)ほとんどない	978	64.0
(2)週に1回未満	233	15.2
(3)週に1-2回	172	11.3
(4)週に3-4回	60	3.9
(5)週に5-6回	15	1.0
(6)ほぼ毎日	43	2.8
(9)欠損値	28	1.8
合計	1529	100.0
夜間、早朝に目が覚めたこと		
(1)ほとんどない	178	11.6
(2)週に1回未満	133	8.7
(3)週に1-2回	258	16.9
(4)週に3-4回	220	14.4
(5)週に5-6回	140	9.2
(6)ほぼ毎日	571	37.3
(9)欠損値	29	1.9
合計	1529	100.0
目が覚め、寝付けなかったこと		
(1)ほとんどない	872	57.0
(2)週に1回未満	259	16.9
(3)週に1-2回	204	13.3
(4)週に3-4回	76	5.0
(5)週に5-6回	32	2.1
(6)ほぼ毎日	57	3.7
(9)欠損値	29	1.9
合計	1529	100.0
朝起きたときひどく疲れた感じ		
(1)ほとんどない	884	57.8
(2)週に1回未満	258	16.9
(3)週に1-2回	214	14.0
(4)週に3-4回	84	5.5
(5)週に5-6回	13	0.9
(6)ほぼ毎日	47	3.1
(9)欠損値	29	1.9
合計	1529	100.0
いびきをかきますか		
(1)ほぼ毎日	338	22.1
(2)ときどき	469	30.7
(3)かかない	206	13.5
(4)わからない	487	31.9
(9)欠損値	29	1.9
合計	1529	100.0
呼吸が止まる		
(1)ほぼ毎日	73	4.8
(2)ときどき	227	14.9
(3)全くない	542	35.5
(4)わからない	657	43.0
(9)欠損値	30	2.0
合計	1529	100.0
抑うつ状態の有無		
(1)抑うつ状態なし	1212	79.3
(2)抑うつ状態あり	235	15.4
(9)欠損値	82	5.4
合計	1529	100.0
孤独感		
(1)決してない	238	15.6
(2)ほとんどない	757	49.5
(3)時々ある	480	31.4
(4)常にある	51	3.3
(9)欠損値	3	0.2
合計	1529	100.0

ソーシャルサポート		
欠損値	25	1.6
高いソーシャルサポート	898	58.7
低いソーシャルサポート	606	39.6
合計	1529	100.0
いきがい		
(1)非常にある	118	7.7
(2)ある	1005	65.7
(3)あまりない	372	24.3
(4)まったくない	29	1.9
(9)欠損値	5	0.3
合計	1529	100.0
肥満度		
BMI25以上	351	23.0
BMI25未満	1172	76.7
欠損値	6	0.4
合計	1529	100.0
健診・検診の有無		
(1)受けた	1411	92.3
(2)受けていない	117	7.7
(9)欠損値	1	0.1
合計	1529	100.0
身体の状態		
(1)身体に特に障害はない	1254	82.0
(2)身体に何らかの障害がある	268	17.5
(9)欠損値	7	0.5
合計	1529	100.0
要介護認定の有無		
(1)現在受けている	2	0.1
(2)以前受けたが、現在は受けていない	4	0.3
(3)受けたことが無い	1518	99.3
(9)欠損値	5	0.3
合計	1529	100.0
腰の痛みの有無		
(1)はい	651	42.6
(2)いいえ	877	57.4
(9)欠損値	1	0.1
合計	1529	100.0
膝の痛みの有無		
(1)はい	420	27.5
(2)いいえ	1102	72.1
(9)欠損値	7	0.5
合計	1529	100.0
耳の聞こえ		
(1)悪くなった	644	42.1
(2)変わらない	871	57.0
(9)欠損値	14	0.9
合計	1529	100.0
目の見え方		
(1)悪くなった	957	62.6
(2)変わらない	557	36.4
(9)欠損値	15	1.0
合計	1529	100.0
オーラルフレイル		
(1)オーラルフレイルなし	1043	68.2
(2)オーラルフレイルあり	466	30.5
(9)欠損値	20	1.3
合計	1529	100.0
フレイル		
(1)フレイルなし	1016	66.5
(2)フレイルあり	495	32.4
(9)欠損値	18	1.2
合計	1529	100.0
JST版活動能力指標		
	平均値	標準偏差
	13.0	2.6

表2. 高齢労働者の年齢層別の特性

	年齢層				p 値
	(1)60-64歳		(2)65歳以上		
	人数	%	人数	%	
30分以内に眠れなかったこと					0.5393
(1)ほとんどない	414	64.29	564	63.73	
(2)週に1回未満	104	16.15	129	14.58	
(3)週に1-2回	68	10.56	104	11.75	
(4)週に3-4回	27	4.19	33	3.73	
(5)週に5-6回	8	1.24	7	0.79	
(6)ほぼ毎日	13	2.02	30	3.39	
(9)欠損値	10	1.55	18	2.03	
夜間、早朝に目が覚めたこと					0.1229
(1)ほとんどない	83	12.89	95	10.73	
(2)週に1回未満	59	9.16	74	8.36	
(3)週に1-2回	112	17.39	146	16.50	
(4)週に3-4回	97	15.06	123	13.90	
(5)週に5-6回	68	10.56	72	8.14	
(6)ほぼ毎日	215	33.39	356	40.23	
(9)欠損値	10	1.55	19	2.15	
目が覚め、寝付けなかったこと					0.6863
(1)ほとんどない	369	57.30	503	56.84	
(2)週に1回未満	104	16.15	155	17.51	
(3)週に1-2回	96	14.91	108	12.20	
(4)週に3-4回	29	4.50	47	5.31	
(5)週に5-6回	12	1.86	20	2.26	
(6)ほぼ毎日	24	3.73	33	3.73	
(9)欠損値	10	1.55	19	2.15	
朝起きたときひどく疲れた感じ					0.0058
(1)ほとんどない	336	52.17	548	61.92	
(2)週に1回未満	119	18.48	139	15.71	
(3)週に1-2回	103	15.99	111	12.54	
(4)週に3-4回	39	6.06	45	5.08	
(5)週に5-6回	8	1.24	5	0.56	
(6)ほぼ毎日	27	4.19	20	2.26	
(9)欠損値	12	1.86	17	1.92	
いびきをかきますか					0.0053
(1)ほぼ毎日	167	25.93	171	19.32	
(2)ときどき	192	29.81	277	31.30	
(3)かかない	68	10.56	138	15.59	
(4)わからない	204	31.68	283	31.98	
(9)欠損値	13	2.02	16	1.81	
呼吸が止まる					0.1778
(1)ほぼ毎日	37	5.75	36	4.07	
(2)ときどき	103	15.99	124	14.01	
(3)全くない	209	32.45	333	37.63	
(4)わからない	283	43.94	374	42.26	
(9)欠損値	12	1.86	18	2.03	
抑うつ状態の有無					0.0008
(1)抑うつ状態なし	504	78.26	708	80.00	
(2)抑うつ状態あり	118	18.32	117	13.22	
(9)欠損値	22	3.42	60	6.78	
孤独感					<.0001
(1)決してない	102	15.84	136	15.37	
(2)ほとんどない	269	41.77	488	55.14	
(3)時々ある	248	38.51	232	26.21	
(4)常にある	24	3.73	27	3.05	
(9)欠損値	1	0.16	2	0.23	

ソーシャルサポート					0.0012
欠損値	3	0.47	22	2.49	
高いソーシャルサポート	364	56.52	534	60.34	
低いソーシャルサポート	277	43.01	329	37.18	
いきがい					0.0126
(1)非常にある	44	6.83	74	8.36	
(2)ある	402	62.42	603	68.14	
(3)あまりない	178	27.64	194	21.92	
(4)まったくない	18	2.80	11	1.24	
(9)欠損値	2	0.31	3	0.34	
肥満度					0.7495
BMI25以上	153	23.76	198	22.37	
BMI25未満	489	75.93	683	77.18	
欠損値	2	0.31	4	0.45	
健診・検診の有無					<.0001
(1)受けた	622	96.58	789	89.15	
(2)受けていない	22	3.42	95	10.73	
(9)欠損値	.	.	1	0.11	
身体の状態					0.1994
(1)身体に特に障害はない	541	84.01	713	80.56	
(2)身体に何らかの障害がある	101	15.68	167	18.87	
(9)欠損値	2	0.31	5	0.56	
要介護認定の有無					0.1322
(1)現在受けている	0	0	2	0.23	
(2)以前受けたが、現在は受けていない	1	0.16	3	0.34	
(3)受けたことが無い	643	99.84	875	98.87	
(9)欠損値	0	0	5	0.56	
腰の痛みの有無					0.4140
(1)はい	268	41.61	383	43.28	
(2)いいえ	375	58.23	502	56.72	
(9)欠損値	1	0.16	.	.	
膝の痛みの有無					0.0699
(1)はい	158	24.53	262	29.60	
(2)いいえ	482	74.84	620	70.06	
(9)欠損値	4	0.62	3	0.34	
耳の聞こえ					0.0008
(1)悪くなった	240	37.27	404	45.65	
(2)変わらない	401	62.27	470	53.11	
(9)欠損値	3	0.47	11	1.24	
目の見え方					0.1531
(1)悪くなった	413	64.13	544	61.47	
(2)変わらない	228	35.40	329	37.18	
(9)欠損値	3	0.47	12	1.36	
オーラルフレイル					<.0001
(1)オーラルフレイルなし	488	75.78	555	62.71	
(2)オーラルフレイルあり	153	23.76	313	35.37	
(9)欠損値	3	0.47	17	1.92	
フレイル					0.0001
(1)フレイルなし	461	71.58	555	62.71	
(2)フレイルあり	181	28.11	314	35.48	
(9)欠損値	2	0.31	16	1.81	
JST版活動能力指標	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	<.0001
	12.7	2.5	13.2	2.6	

表3. 高齢労働者の男女別の特性

	性別				p 値
	(1)男性		(2)女性		
	人数	%	人数	%	
30分以内に眠れなかったこと					0.2697
(1)ほとんどない	831	65.13	147	58.10	
(2)週に1回未満	190	14.89	43	17.00	
(3)週に1-2回	138	10.82	34	13.44	
(4)週に3-4回	45	3.53	15	5.93	
(5)週に5-6回	12	0.94	3	1.19	
(6)ほぼ毎日	35	2.74	8	3.16	
(9)欠損値	25	1.96	3	1.19	
夜間、早朝に目が覚めたこと					<.0001
(1)ほとんどない	129	10.11	49	19.37	
(2)週に1回未満	89	6.97	44	17.39	
(3)週に1-2回	210	16.46	48	18.97	
(4)週に3-4回	185	14.50	35	13.83	
(5)週に5-6回	127	9.95	13	5.14	
(6)ほぼ毎日	510	39.97	61	24.11	
(9)欠損値	26	2.04	3	1.19	
目が覚め、寝付けなかったこと					0.2889
(1)ほとんどない	721	56.50	151	59.68	
(2)週に1回未満	209	16.38	50	19.76	
(3)週に1-2回	177	13.87	27	10.67	
(4)週に3-4回	66	5.17	10	3.95	
(5)週に5-6回	30	2.35	2	0.79	
(6)ほぼ毎日	47	3.68	10	3.95	
(9)欠損値	26	2.04	3	1.19	
朝起きたときひどく疲れた感じ					0.6316
(1)ほとんどない	744	58.31	140	55.34	
(2)週に1回未満	209	16.38	49	19.37	
(3)週に1-2回	182	14.26	32	12.65	
(4)週に3-4回	66	5.17	18	7.11	
(5)週に5-6回	11	0.86	2	0.79	
(6)ほぼ毎日	38	2.98	9	3.56	
(9)欠損値	26	2.04	3	1.19	
いびきをかきますか					<.0001
(1)ほぼ毎日	313	24.53	25	9.88	
(2)ときどき	402	31.50	67	26.48	
(3)かかない	164	12.85	42	16.60	
(4)わからない	371	29.08	116	45.85	
(9)欠損値	26	2.04	3	1.19	
呼吸が止まる					<.0001
(1)ほぼ毎日	72	5.64	1	0.40	
(2)ときどき	212	16.61	15	5.93	
(3)全くない	425	33.31	117	46.25	
(4)わからない	540	42.32	117	46.25	
(9)欠損値	27	2.12	3	1.19	
抑うつ状態の有無					0.1698
(1)抑うつ状態なし	1011	79.23	201	79.45	
(2)抑うつ状態あり	191	14.97	44	17.39	
(9)欠損値	74	5.80	8	3.16	
孤独感					0.3496
(1)決してない	199	15.60	39	15.42	
(2)ほとんどない	623	48.82	134	52.96	
(3)時々ある	405	31.74	75	29.64	
(4)常にある	47	3.68	4	1.58	
(9)欠損値	2	0.16	1	0.40	

ソーシャルサポート					0.0270
欠損値	23	1.80	2	0.79	
高いソーシャルサポート	731	57.29	167	66.01	
低いソーシャルサポート	522	40.91	84	33.20	
いきがい					0.2555
(1)非常にある	102	7.99	16	6.32	
(2)ある	827	64.81	178	70.36	
(3)あまりない	319	25.00	53	20.95	
(4)まったくない	25	1.96	4	1.58	
(9)欠損値	3	0.24	2	0.79	
肥満度					0.0002
BMI25以上	317	24.84	34	13.44	
BMI25未満	953	74.69	219	86.56	
欠損値	6	0.47	0	0	
健診・検診の有無					0.1465
(1)受けた	1170	91.69	241	95.26	
(2)受けていない	105	8.23	12	4.74	
(9)欠損値	1	0.08	0	0	
身体の状態					0.1183
(1)身体に特に障害はない	1035	81.11	219	86.56	
(2)身体に何らかの障害がある	235	18.42	33	13.04	
(9)欠損値	6	0.47	1	0.40	
要介護認定の有無					0.1298
(1)現在受けている	2	0.16	0	0	
(2)以前受けたが、現在は受けていない	2	0.16	2	0.79	
(3)受けたことが無い	1269	99.45	249	98.42	
(9)欠損値	3	0.24	2	0.79	
腰の痛みの有無					0.0590
(1)はい	560	43.89	91	35.97	
(2)いいえ	715	56.03	162	64.03	
(9)欠損値	1	0.08	.	.	
膝の痛みの有無					0.0819
(1)はい	336	26.33	84	33.20	
(2)いいえ	934	73.20	168	66.40	
(9)欠損値	6	0.47	1	0.40	
耳の聞こえ					0.2557
(1)悪くなった	549	43.03	95	37.55	
(2)変わらない	715	56.03	156	61.66	
(9)欠損値	12	0.94	2	0.79	
目の見え方					0.0087
(1)悪くなった	777	60.89	180	71.15	
(2)変わらない	486	38.09	71	28.06	
(9)欠損値	13	1.02	2	0.79	
オーラルフレイル					0.3792
(1)オーラルフレイルなし	861	67.48	182	71.94	
(2)オーラルフレイルあり	398	31.19	68	26.88	
(9)欠損値	17	1.33	3	1.19	
フレイル					0.5397
(1)フレイルなし	841	65.91	175	69.17	
(2)フレイルあり	419	32.84	76	30.04	
(9)欠損値	16	1.25	2	0.79	
JST版活動能力指標	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	0.3467
	13.0	2.6	13.1	2.3	

表3. 高齢労働者の主観的健康状態別の特性

	主観的健康状態				p 値
	(1)良い		(2)良くない		
	人数	%	人数	%	
30分以内に眠れなかったこと					<.0001
(1)ほとんどない	857	67.22	121	47.64	
(2)週に1回未満	189	14.82	44	17.32	
(3)週に1-2回	128	10.04	44	17.32	
(4)週に3-4回	44	3.45	16	6.30	
(5)週に5-6回	10	0.78	5	1.97	
(6)ほぼ毎日	22	1.73	21	8.27	
(9)欠損値	25	1.96	3	1.18	
夜間、早朝に目が覚めたこと					0.0113
(1)ほとんどない	159	12.47	19	7.48	
(2)週に1回未満	116	9.10	17	6.69	
(3)週に1-2回	225	17.65	33	12.99	
(4)週に3-4回	177	13.88	43	16.93	
(5)週に5-6回	117	9.18	23	9.06	
(6)ほぼ毎日	455	35.69	116	45.67	
(9)欠損値	26	2.04	3	1.18	
目が覚め、寝付けなかったこと					<.0001
(1)ほとんどない	753	59.06	119	46.85	
(2)週に1回未満	219	17.18	40	15.75	
(3)週に1-2回	164	12.86	40	15.75	
(4)週に3-4回	51	4.00	25	9.84	
(5)週に5-6回	24	1.88	8	3.15	
(6)ほぼ毎日	37	2.90	20	7.87	
(9)欠損値	27	2.12	2	0.79	
朝起きたときひどく疲れた感じ					<.0001
(1)ほとんどない	813	63.76	71	27.95	
(2)週に1回未満	206	16.16	52	20.47	
(3)週に1-2回	160	12.55	54	21.26	
(4)週に3-4回	43	3.37	41	16.14	
(5)週に5-6回	8	0.63	5	1.97	
(6)ほぼ毎日	19	1.49	28	11.02	
(9)欠損値	26	2.04	3	1.18	
いびきをかきますか					0.0784
(1)ほぼ毎日	276	21.65	62	24.41	
(2)ときどき	407	31.92	62	24.41	
(3)かかない	169	13.25	37	14.57	
(4)わからない	396	31.06	91	35.83	
(9)欠損値	27	2.12	2	0.79	
呼吸が止まる					0.0056
(1)ほぼ毎日	63	4.94	10	3.94	
(2)ときどき	193	15.14	34	13.39	
(3)全くない	471	36.94	71	27.95	
(4)わからない	521	40.86	136	53.54	
(9)欠損値	27	2.12	3	1.18	
抑うつ状態の有無					<.0001
(1)抑うつ状態なし	1080	84.71	132	51.97	
(2)抑うつ状態あり	122	9.57	113	44.49	
(9)欠損値	73	5.73	9	3.54	
孤独感					<.0001
(1)決してない	222	17.41	16	6.30	
(2)ほとんどない	659	51.69	98	38.58	
(3)時々ある	364	28.55	116	45.67	
(4)常にある	27	2.12	24	9.45	
(9)欠損値	3	0.24	0	0	

ソーシャルサポート					<.0001
欠損値	24	1.88	1	0.39	
高いソーシャルサポート	797	62.51	101	39.76	
低いソーシャルサポート	454	35.61	152	59.84	
いきがい					<.0001
(1)非常にある	112	8.78	6	2.36	
(2)ある	897	70.35	108	42.52	
(3)あまりない	245	19.22	127	50.00	
(4)まったくない	18	1.41	11	4.33	
(9)欠損値	3	0.24	2	0.79	
肥満度					0.2608
BMI25以上	285	22.35	66	25.98	
BMI25未満	984	77.18	188	74.02	
欠損値	6	0.47	0	0	
健診・検診の有無					0.0047
(1)受けた	1189	93.25	222	87.40	
(2)受けていない	85	6.67	32	12.60	
(9)欠損値	1	0.08	0	0	
身体の状態					<.0001
(1)身体に特に障害はない	1116	87.53	138	54.33	
(2)身体に何らかの障害がある	155	12.16	113	44.49	
(9)欠損値	4	0.31	3	1.18	
要介護認定の有無					0.6592
(1)現在受けている	2	0.16	0	0	
(2)以前受けたが、現在は受けていない	3	0.24	1	0.39	
(3)受けたことが無い	1265	99.22	253	99.61	
(9)欠損値	5	0.39	0	0	
腰の痛みの有無					<.0001
(1)はい	491	38.51	160	62.99	
(2)いいえ	783	61.41	94	37.01	
(9)欠損値	1	0.08	0	0	
膝の痛みの有無					<.0001
(1)はい	319	25.02	101	39.76	
(2)いいえ	951	74.59	151	59.45	
(9)欠損値	5	0.39	2	0.79	
耳の聞こえ					0.0004
(1)悪くなった	509	39.92	135	53.15	
(2)変わらない	753	59.06	118	46.46	
(9)欠損値	13	1.02	1	0.39	
目の見え方					0.0411
(1)悪くなった	781	61.25	176	69.29	
(2)変わらない	480	37.65	77	30.31	
(9)欠損値	14	1.10	1	0.39	
オーラルフレイル					<.0001
(1)オーラルフレイルなし	912	71.53	131	51.57	
(2)オーラルフレイルあり	345	27.06	121	47.64	
(9)欠損値	18	1.41	2	0.79	
フレイル					<.0001
(1)フレイルなし	896	70.27	120	47.24	
(2)フレイルあり	363	28.47	132	51.97	
(9)欠損値	16	1.25	2	0.79	
JST版活動能力指標	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	<.0001
	13.2	2.5	12.1	2.7	

# 高齢男性の疲労感は独立した非就労関連因子である—愛知職域コホート研究—

研究協力者 洪 英在<sup>1</sup>

研究分担者 八谷 寛<sup>1</sup>

研究代表者 大塚 礼<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 名古屋医学部・大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学

<sup>2</sup> 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所 老化疫学研究部

## 【目的】

就業している高齢者の割合は増加しており、高齢者の特性に配慮した職場環境の整備が求められている。高齢者が安心して就労するためには高齢者の非就労に関連する要因を解明する必要がある。今回、我々は、社会経済的な状況が比較的均一と考えられる公務員退職者を対象として、疲労感の就労有無に対する関連を、認知機能、その他の心身の状況等の交絡要因を考慮して、横断的に検討した。

## 【方法】

愛知職域コホート参加者のうち、すでに公務員を退職し2018年時点で老年期に至っていた男性196名(平均年齢70.0歳:62-79歳)に対して、身体、認知機能調査を行った。「(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする)に「はい」と答えた群を疲労感あり群とした。就労の有無を従属変数、疲労感を独立変数、年齢、抑うつ(CES-D11項目短縮版で8点以上)、認知機能低下(Moca-J 25点以下)、握力低下(28 kg以下)、歩行速度低下(1.0m/秒未満)を共変量とするModel 1、腰痛、膝痛、転倒の不安、糖尿病の病歴をさらに加えたModel 2のロジスティック回帰分析を用いて解析した。

## 【結果】

89名(45.4%)が就労をしていた。疲労感を有する者では抑うつ、握力低下、腰痛、膝痛、転倒の不安、糖尿病の病歴を有する者の割合が有意に高かった。疲労感を感じていることは就労していないことと関連した(Model 1 オッズ比 0.26 95%信頼区間:0.09-0.78, p=0.02)。関連性はやや減弱したがModel 2においても同様の傾向を認めた(オッズ比 0.36、95%信頼区間:0.12-1.12, p=0.08)。

## 【考察】

地方自治体の元公務員の高齢男性において疲労感を感じていることは就労していないことと関連した。その関連は、その他の心身の状況、認知機能とは独立していたが、膝や腰の痛み、転倒の不安、糖尿病の病歴の調整によりやや減弱した。横断研究のため因果関係は不明であり、高齢者の特性に配慮した就労環境にある就労者は疲労感を感じていない可能性も想定されるが、疲労感あるいは疲労感を感じやすい心身の状態が高齢者の就労を妨げる可能性も考えられた。高齢者の就労支援を図る上で、身体機能、認知機能に加え疲労感へ配慮することや、疲労感を改善させる方策の重要性も示唆された。

## 【結論】

元公務員の高齢男性において疲労感は、身体機能、認知機能、精神状態と独立して非就労と関連していた。

## 結果—解析対象者の特徴—

	疲労感 無 (n=170)	疲労感 有 (n=26)	P値
2018年の平均年齢 (標準偏差), 歳	69.9 (3.66)	70.4 (4.14)	0.52
抑うつ, CES-D $\geq 8$ %	12.9	38.5	<0.01
認知機能低下, MOCA-J < 25 %	51.2	69.2	0.09
握力低下, < 28kg %	3.5	19.2	<0.01
歩行速度低下, < 1.0m/秒 %	5.3	11.5	0.22
腰痛有 %	36.5	65.4	<0.01
膝痛有 %	18.2	42.3	<0.01
転倒の不安有 %	14.1	42.3	<0.01
糖尿病の病歴有 %	15.9	30.8	0.07

年齢はt検定 その他の変数は $\chi^2$ 検定

## 結果—就労有りと疲労感有りの関連:ロジスティック回帰分析—

	疲労感	
	無	有
非就労者/総数	87/170 (51.2%)	20/26 (76.9%)
Crude	1	0.31 (0.12 - 0.82)
Model 1	1	0.26 (0.09 - 0.78)
Model 2	1	0.36 (0.12 - 1.12)

Model 1 :年齢、抑うつ、認知機能低下、握力低下、歩行速度低下

Model 2 :Model 1 + 腰痛、ひざ痛、転倒の不安の有無、糖尿病の病歴